

Pioneer *sound.vision.soul*

**重
要**

再生できるディスクの種類 12ページ

ディスクの操作について 12ページ

DVD-V/VCD/CD/チューナー メインユニット

DVH-P717

取扱説明書

目次 6ページ

carrozeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にDVDなどを見ない



禁止

運転者がDVDなどを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

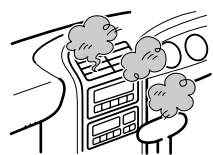
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

安全走行のために

本機はパーキングブレーキのオン/オフを検知しており、フロント映像出力に接続したモニターでは、走行中にDVDやビデオCDの映像を見ることができないようになっています。

例：DVDを見ようとしたとき(黒い画面になります。)



安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると映像が表示されます。

リア映像出力に接続したモニターの使用について

本機のリア映像出力は、後部座席でDVDやビデオCDを見るモニターに接続するための出力です。リア映像出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

この説明書の見かた

章の見出しです。

操作方法が書いてあります。

操作の結果が書いてあります。

操作に対応しているリモコンのモードを表示しています。

画面表示です。

リモコンでの基本操作

ディスク再生 DVD

再生一時停止 (⏸) ボタンを押す

再生マークが約4秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、再生一時停止 (⏸) ボタンを押すと、停止します。

すでにDVDを使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

メニュー画面の操作 DVD

メニュー画面付きDVDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

ジョイスティックを操作して、メニューを選ぶ

ジョイスティックを押す
選んだメニューから再生されます。

メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

メニュー画面でメニューを選ぶには
再生中にMENUボタンまたはTOP MENUボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場所から再生することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

チャプターを定める/戻す DVD

再生中にスキップボタンを押す
チャプターナンバが約8秒間表示され、前に進みます。

前のチャプターに戻る

再生中にスキップボタンを押す
チャプターナンバが約8秒間表示され、前のチャプターに戻ります。

連続して2回押すと、-3分の0.5秒ずつ戻ります。

ダイレクトサーチ DVD

タイトルを指定する

停止中に、見たいタイトル番号の数字ボタンを押す
タイトルバーが約8秒間表示され、指定したタイトルから再生されます。

3を過には、3のボタン押します。
1.0を過には押します。
2.3を過には、10、11の順に押し続けます。

リモコンのモード表示

知っておくと便利なことなどが書いてあります。

章の見出しです。

操作するボタンです。

目次

— CONTENTS

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください 2
絵表示について
安全上のご注意
安全走行のために 4
リア映像出力に接続した
モニターの使用について
バッテリー上がりを防ぐために 4
この説明書の見かた 5

はじめに

使用上の注意 10
再生できるディスクの種類 12
ディスクの構成について
DVDに表示されているマークの意味
ドルビーデジタル/DTSについて
著作権について
各部の名称 16
本体
リモコン
50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について 18
リモコンの準備 18
リモコンに電池を入れる
リモコンの操作モード切り換え
スイッチについて 19
デモモードについて 19

共通の基本操作

電源をONにする 20
ソースを選ぶ 20
音量を調節する 22
電源をOFFにする 23
ディスクをセットする・取り出す . . . 24
ディスクをセットする
ディスクを取り出す

内蔵プレーヤーの操作 (DVD-V)

本体での基本操作 26
ディスク再生/早送り・早戻し/チャプター
(タイトル) 選択
本体のファンクションモード
での操作 28
ファンクションモードの切り換え
リピート再生
一時停止
リモコンでの基本操作 30
ディスク再生
メニュー画面の操作
チャプターを進める/戻す
タイトル・チャプターを指定する
(ダイレクトサーチ)
早送りする
早戻しする
再生を止める
いろいろな再生 34
静止画再生
コマ送り再生
スロー再生
再生中に音声言語を切り換える
(マルチ音声)
再生中に音字幕言語を切り換える
(マルチ字幕)
再生中にアングルを切り換える
(マルチアングル)
情報画面での操作 39
情報画面の表示のしかた
情報画面 1 での操作 40
見たい場面を探す、
指定した時間から再生する
音声、字幕、アングルの切り換え
情報画面 2 での操作 42
リピート範囲の切り換え
音声の出力方法の切り換え

内蔵プレーヤーの操作 (ビデオCD)

本体での基本操作	44
ディスク再生/早送り・早戻し/ トラック選択	
本体のファンクションモード での操作	46
ファンクションモードの切り換え	
リピート再生	
一時停止	
リモコンでの操作	48
ディスク再生	
メニュー画面の操作	
トラックを進める/戻す	
トラックを指定する (ダイレクトサーチ)	
早送りする	
早戻しする	
再生を止める	
静止画再生	
情報画面での操作	52
情報画面の表示のしかた	
見たい場面を探す、 指定した時間から再生する	
リピート範囲の切り換え	
音声の出力方法の切り換え	

内蔵プレーヤーの操作 (CD)

本体での基本操作	56
ディスク再生/早送り・早戻し/ トラック選択	
本体のファンクションモード での操作	57
ファンクションモードの切り換え	
リピート再生	
ランダム再生	
スキャン再生	
一時停止	
リモコンでの操作	60
早送りする	
早戻しする	
一時停止	
情報画面での操作	62
聞きたい場所を探す	
リピート範囲の切り換え	
ランダム再生のオン/オフ	
スキャン再生のオン/オフ	

目次

CONTENTS

ラジオの操作

ラジオの操作	66
バンド選択/放送局選択	
プリセットメモリー	
BSM (ベストステーションズメモリー)	
プリセットチューニング	
放送局名選択	

マルチCDの操作

マルチCDの基本操作	72
ディスクサーチ/トラックサーチ/ 早送り・早戻し	
聞きたいCDを直接選ぶ	
本体のファンクションモード・ 詳細設定モードでの操作	74
ファンクションモードの切り換え	
詳細設定モードの切り換え	
リピート再生	
スキャン再生	
ランダム再生	
ITS記憶	
ITS再生	
ITS消去(1曲ごと)	
ITS消去(CDごと)	
タイトル入力	
ディスクタイトル表示	
タイトル表示	
タイトルリスト	
一時停止	
CDの音質を調整する	

音の調節

音の調節(イコライザー調節)	90
お好みの音の空間に設定する	
イコライザーカーブを選ぶ	
音の調節(オーディオ調節モード)	92
オーディオ調節モードの切り換えかた	
前後左右の音量バランスを調節する	
お好みに合わせて	
イコライザーカーブを調節する	
イコライザーカーブを細かく調節する	
低音を調節する	
高音を調節する	
小音量時の音にメリハリをつける	
サブウーファアの接続方法に合わせた	
設定にする	
サブウーファアを使う	
外部アンプなどで	
サブウーファアを調節する	
低い音をスピーカーから	
出力させないようにする	
各ソースの音量の違いをそろえる	

内蔵プレーヤーの初期設定

内蔵プレーヤーの初期設定	106
初期設定画面を表示する	
字幕言語の設定	107
字幕・アシスト字幕のオン/オフ設定	
字幕言語の設定	
音声言語の設定	109
メニュー言語の設定	110
視聴制限の設定	
(パレンタルロック)	111
暗証番号とレベルの設定	
レベルの変更	
画面の縦横比の設定	
(テレビアスペクト)	114
マルチアングルマーク表示	
ON/OFFの設定	115
デジタル出力の設定	116
音声出力の設定	
(デジタル/アナログ共通)	117
リモコンコードの設定	118

初期設定

初期設定モードの切り換えかた . . .	120
初期設定画面を表示する	
初期設定モード	121
時計を合わせる	
外部機器の音声を聞く	
外部機器の名称を入力する	
夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	
ディスプレイの明るさを調節する	
リアの出力方法を変える	
サブウーファースの調節先を選ぶ	
ミュート/アッテネート切り換え	
自動/手動再生の切り換え	

その他の機能と付録

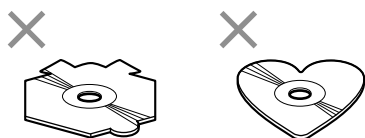
その他の機能	126
瞬時に音量を小さくする	
時計を表示させる	
交通情報を受信する	
エンタテインメントを表示させる	
デジタル出力の情報を表示させる	
DVD プレーヤーの その他の機能	128
コンディションメモリーについて	
暗証番号を忘れたときは	
言語コード表	129
用語解説	130
故障かな? と思ったら	132
こんなメッセージが 表示されたら	136
保証書とアフターサービス	137
仕様	138

使用上の注意

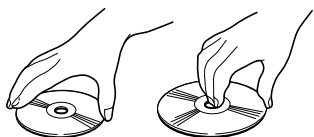
取り扱い上のご注意

ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。

特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



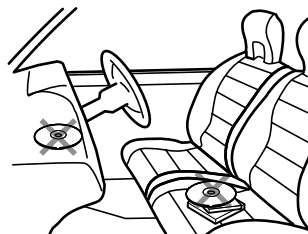
ディスクは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



ディスクにキズを付けしないでください。
ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。

保管上のご注意

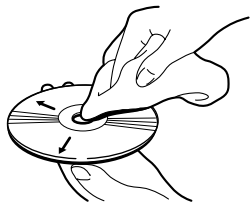
直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



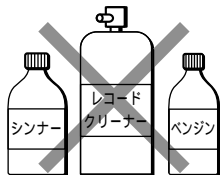
ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC (日本のテレビ方式) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ  	DVDビデオ 12cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 133分
	12cm/片面 2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
	12cm/両面 2層	484分
	DVDビデオ 8cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 41分
	8cm/片面 2層	75分
8cm/両面 1層	82分	
8cm/両面 2層	150分	
ビデオCD 	ビデオCD 12cm/片面	(MPEG 1方式) 74分
	ビデオCDシングル 8cm/片面	(MPEG 1方式) 20分
CD 	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

禁止マーク



ディスクによっては、表示されないこともあります。

ご注意

- ・ DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- ・ DVD ビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- ・ DVD オーディオや CD-ROM などは再生できません。本機で再生できるのは、12 ページに記載されているマークの付いたディスクのみです。
- ・ DVD ビデオディスクでも、リージョン番号 (131 ページ) が異なるディスクは再生できません。
- ・ DVD-R/DVD-RW ディスクは、ビデオフォーマット (ビデオモード) で記録されたものに限って、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-RW ディスクは再生できません。
- ・ ビデオフォーマット (ビデオモード) で記録された DVD-R/DVD-RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・ CD-TEXT は、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- ・ CD-Extra は、音楽 CD として再生することができます。
- ・ 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/CD-RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- ・ 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/CD-RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・ ファイナライズされていない CD-R/RW、DVD-R/RW ディスクには対応しておりません。
- ・ CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- ・ CD-R/CD-RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ・ PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては、再生できない場合があります。(詳細については、アプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)

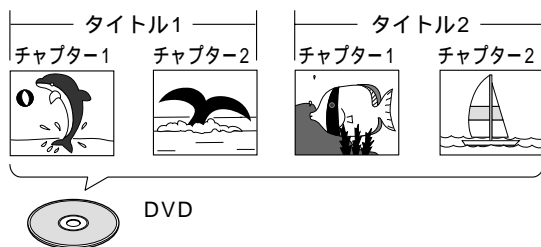
再生できるディスクの種類

ディスクの構成について

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画などでは、通常1つの作品が1つのタイトルに対応していて、場面ごとにチャプターで分けられています。カラオケディスクでは、1曲が1タイトルとなっています。

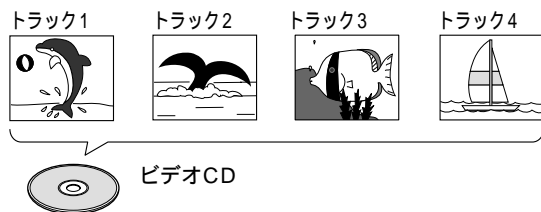
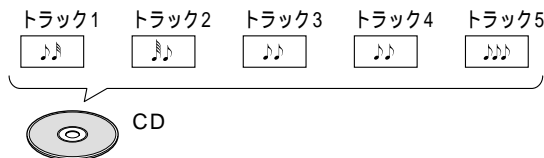
ただし、このような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。



CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています。






一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

PBC (プレイバックコントロール) 付きビデオCDでは、メニュー画面を使って再生することができます。この場合、リピートやサーチ機能など一部の操作ができないことがあります。



DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類を表します。
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ドルビー * デジタル/DTS** について

当社の 5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) と組み合わせると、5.1 チャンネルで収録された映画/音楽の DVD を臨場感豊かに再現することができます。



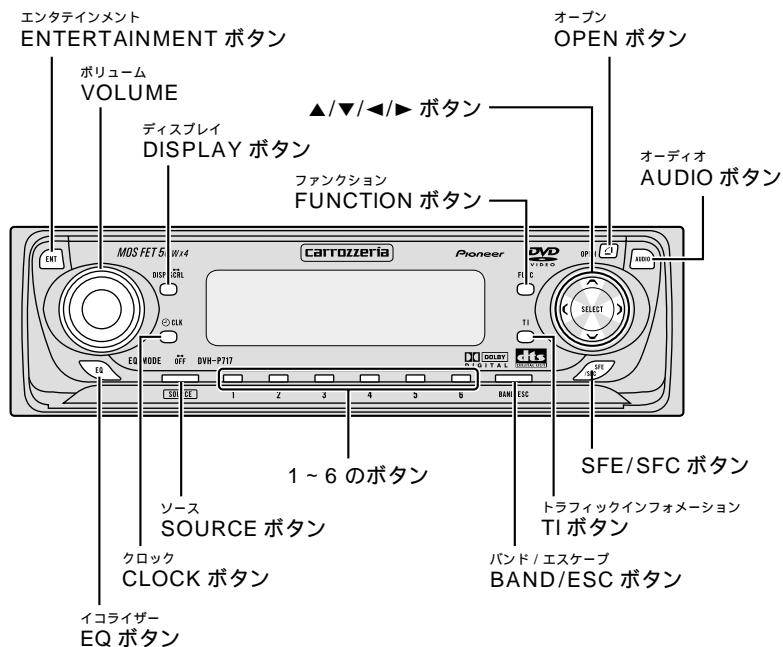
- * ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ** DTSは米国 Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

著作権について

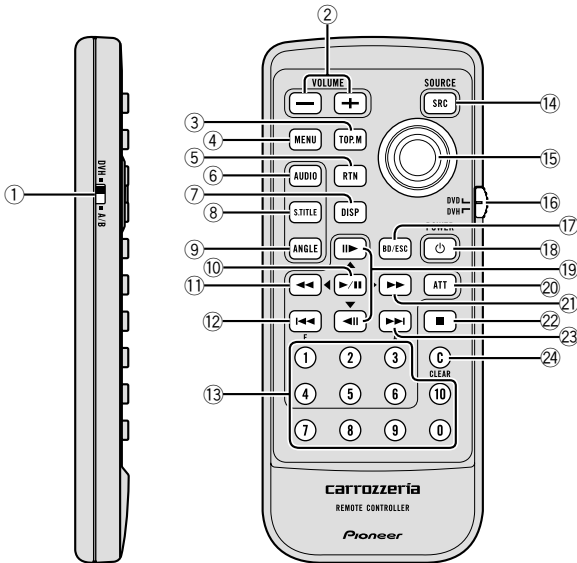
本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

各部の名称

本体



リモコン



① リモコンコード切り換えスイッチ
(118 ページ)

- ② ボリューム
VOLUME ボタン
- ③ トップメニュー
TOP MENU ボタン
- ④ メニュー
MENU ボタン
- ⑤ リターン
RETURN ボタン
- ⑥ オーディオ
AUDIO (マルチ音声) ボタン
- ⑦ ディスプレイ
DISPLAY ボタン
- ⑧ サブタイトル
SUBTITLE (マルチ字幕) ボタン
- ⑨ アンクル
ANGLE (マルチアンクル) ボタン
- ⑩ 再生/一時停止 (▶/⏸) ボタン
- ⑪ 早戻し (◀◀)/◀ ボタン
- ⑫ スキップ (◀◀)/FUNCTION ボタン
ファンクション
- ⑬ 数字 (0 ~ 10) ボタン

- ⑭ ソース
SOURCE ボタン
- ⑮ ジョイスティック
- ⑯ 操作モード切り換えスイッチ
(19 ページ)
- ⑰ バンド/エスケープ
BAND/ESC ボタン
- ⑱ パワー
POWER ボタン
- ⑲ コマ送り (▶▶)/▲ ボタン
コマ戻し (◀◀)/▼ ボタン
- ⑳ アッテネーター
ATT ボタン
(126 ページ)
- ㉑ 早送り (▶▶)/▶ ボタン
- ㉒ 停止 (■) ボタン
- ㉓ オードィオ
スキップ (▶▶)/AUDIO ボタン
クリアー
- ㉔ CLEAR ボタン

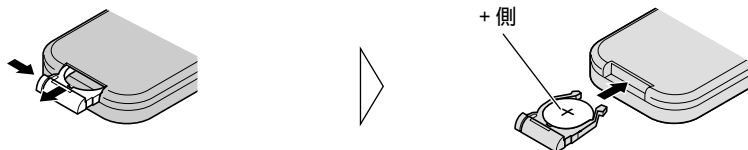
50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能だけです。

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2025) を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



- ・リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコン取り扱い上のご注意

- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・本体またはリモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
- ・付属の電池は充電できません。
- ・リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

リモコンの操作モード切り換えスイッチについて

本機に付属のリモコンには、DVHモードとDVDモードの2つの操作モードがあります。

DVHモードについて

リモコンの操作モードをDVHモードにすると、各ソースの操作、設定の切り換えなどをリモコンで行うことができます。

この場合、本体のボタンとリモコンのボタンの両方で、同様の操作をすることができます。

DVDモードについて

リモコンの操作モードをDVDモードにすると、DVD (内蔵プレーヤー) の操作、設定の切替などをリモコンで行うことができます。

また、リアモニターでDVDを再生しているときなどに、リアモニターでのDVDの操作だけを独立して行うことができます。(フロントモニターとリアモニターが同時にDVDを再生しているときは、フロント/リア共通の操作になります。)

また、本体の電源がOFFのときや、本体のソースが内蔵プレーヤー以外のもので、リモコンのPOWERボタンを押すと、リアモニターでの内蔵プレーヤーの再生をONにすることができます。

- ・リモコンの操作モードがDVDになっている場合は、リモコンでは、内蔵プレーヤー以外の操作をすることはできません。

デモモードについて

本機には、リバースモードとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON (またはACC) のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、モードがONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示する機能です。

フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときに6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが解除されます。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

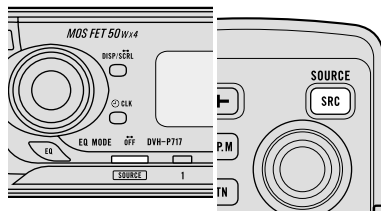
- ・赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

共通の基本操作

電源を ON にする

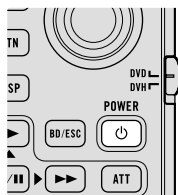
本体・リモコン (DVHモード) での操作

- 1 SOURCE ボタンを押す
電源が ON になります。



リモコン (DVDモード) での操作

- 1 リモコンの POWER ボタンを押す
電源が ON になります。



リモコンの設定が DVD モードの場合

- ・本機で内蔵プレーヤー以外のソースを選んでいるときでも、POWER ボタンを押して内蔵プレーヤーの再生を ON にすると、リアモニターで本機の映像を見ることができます。
- ・本機の電源の ON/OFF にかかわらず、内蔵プレーヤーの再生を ON/OFF することができます。

ソースを選ぶ

本体・リモコン (DVHモード) での操作

- 1 SOURCE ボタンを押す
SOURCE ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

- テレビ (別売) ラジオ (AM/FM) 1 枚型 MD (別売)
 マルチ MD (別売) 内蔵プレーヤー (DVD/ビデオ CD/CD)
 マルチ CD (別売) External 1 (エクスターナルユニット) (別売) 1
 External 2 (エクスターナルユニット) (別売) 1
 AUX (外部機器) (別売) 2

ソースを選ぶ

- ・接続していないソースには切り換わりません。
- ・CDやビデオCD、DVDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナが伸びます。
- ・内蔵プレーヤーを選択しているときは、本体のディスプレイに“REAR”が表示されます。
- ・本機のリモコンがDVDモードになっているときは、リモコンのSOURCEボタンを押してソースを切り換えることはできません。リモコンでソース切り換えをする場合は、リモコンをDVHモードに設定してください。

1：External とは

- ・External（エクスターナルユニット）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal（エクスターナルユニット）をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されます。2台のExternal（エクスターナルユニット）を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

2：AUX について

- ・AUX（外部機器）の設定（「外部機器の設定」121ページ）をONにしないと、AUXには切り換わりません。

テレビ、1枚型MD、マルチMDを接続したときは、操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

（組み合わせ例）

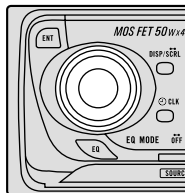
ソース	製品の型番
テレビ	「AVIC-DR2500」、「TV-W08」など
1枚型MD	「MDS-P7000」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

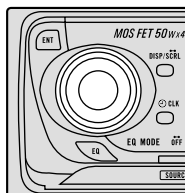
音量を調節する

本体での操作

- 1** VOLUME を押す
 押すと手前に出できます。
 もう一度押すと、元に戻ります。



- 2** VOLUME を回す
 右回し : 大きくするとき
 左回し : 小さくするとき



リモコンでの操作

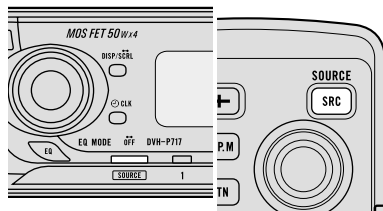
- 1** VOLUME ボタンを押す
 + : 大きくするとき
 - : 小さくするとき



電源を OFF にする

本体・リモコン (DVHモード) での操作

- 1 SOURCE ボタンを 2 秒以上押す
電源が OFF になります。



リモコンでの操作

- 1 リモコンの POWER ボタンを押す
電源が OFF になります。



リモコンの設定が DVD モードの場合

- ・ POWER ボタンを押して、内蔵プレーヤーの再生を OFF にした場合、本体のディスプレイから “ REAR ” の表示が消えます。
- ・ 本機のソースが DVD のとき、リモコンの POWER ボタンを押すと内蔵プレーヤーの再生が OFF になります。このとき、本体のディスプレイには “ POWER Off ” が表示されます。

・ リモコンの POWER ボタンを押して内蔵プレーヤーの再生を ON にしたときは、SOURCE ボタンを押しても本機の電源は OFF になりません。(本体のディスプレイで “ REAR ” が点滅します。)

この場合は、リモコンの POWER ボタンを押して、内蔵プレーヤーの再生を OFF にしてください。本体のディスプレイ上から “ REAR ” が消えると、本機の電源が OFF になったことを確認することができます。

ディスクをセットする・取り出す

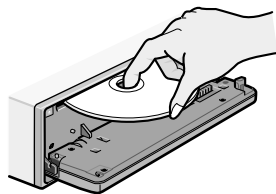
ディスクをセットする

1 本体のOPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける

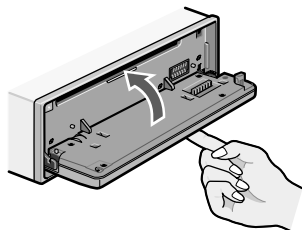
2 タイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込む

ディスクが自動再生 (AUTO PLAY :ON) になっている場合は、自動的にディスクの再生が始まります。

ディスクが手動再生 (AUTO PLAY :OFF) になっている場合は、SOURCE ボタンを押して、ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換えてください (「自動/手動再生の切り換え」125 ページ)。



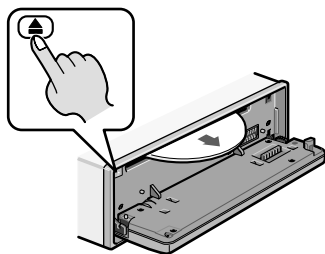
3 フロントパネルを閉める



- ・ 8 cm ディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外の物を絶対に入れないでください。故障の原因となります。

ディスクを取り出す

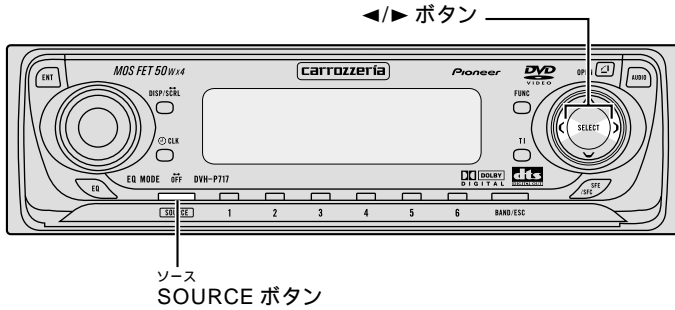
- 1 フロントパネルを開けてから本体の▲ボタンを押す



- 2 フロントパネルを閉める
ディスク挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、フロントパネルを閉めてください。

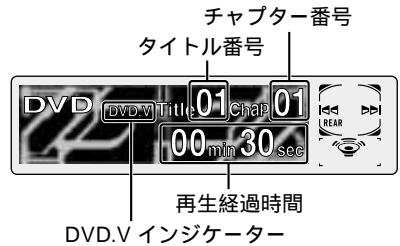
内蔵プレーヤーの操作 (DVD-V)

本体での基本操作



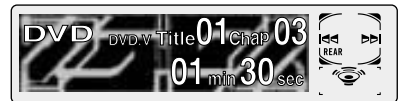
ディスク再生/早送り・早戻し/チャプター (タイトル) 選択

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」21 ページ)



- ・内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に“STOP”が表示され、ボタンでの操作はできません。
- ・メニュー画面付きDVDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。この場合は、リモコンのジョイスティックで再生を開始してください (「メニュー画面の操作」30 ページ)。

- 2 ◀/▶ ボタンを押す
 - ▶ : 次のチャプターを選ぶとき (または早送り)
 - ◀ : 前のチャプターを選ぶとき (または早戻し)



チャプター選択と早送り/早戻しの使い分け

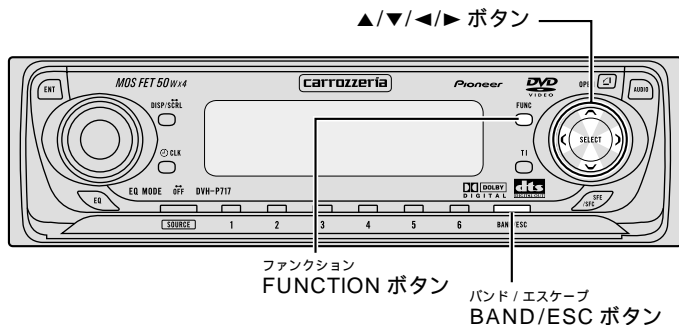
チャプター選択	◀/▶ ボタンを 0.5 秒未満押したとき
早送り/早戻し	◀/▶ ボタンを 0.5 秒以上押したとき

- ・ ◀/▶ ボタンを 5 秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常再生に切り換わります。

3 DVDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください (21、23、25 ページ)。

本体のファンクションモードでの操作

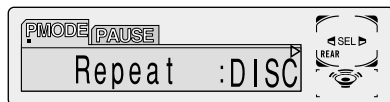


ファンクションモードの切り換え

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



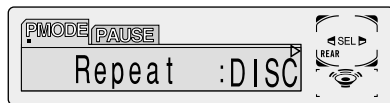
Repeat (再生範囲切り換え) Pause (一時停止) Repeatに戻る

- ・ファンクションモードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

リピート再生

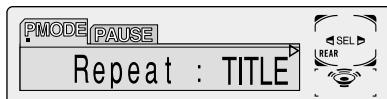
今再生しているチャプター (タイトル) を繰り返し再生したり、1 枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



2 ◀/▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、再生範囲が次のように切り換わります。



DISC (ディスクリピート) CHAP (チャプターリピート) TITLE (タイトルリピート)
DISCに戻る

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のディスクを繰り返し再生します。
チャプターリピート	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
タイトルリピート	再生中のタイトルを繰り返し再生します。

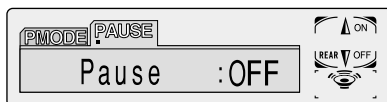
3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ディスクリピートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

一時停止

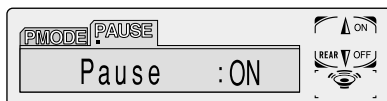
ディスクの再生を一時停止することができます。

1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



2 ▲/▼ ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF



3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

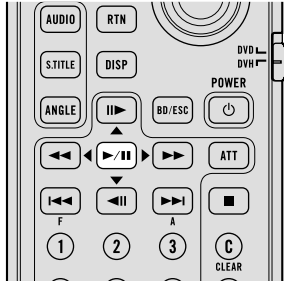
リモコンでの基本操作

ディスク再生 DVD DVH

- 1** 再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約4秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、一時停止します。

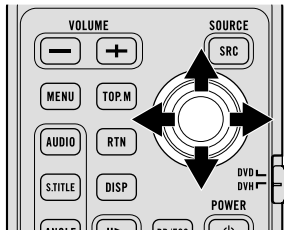


・すでにDVDを使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

メニュー画面の操作 DVD DVH

メニュー画面付きDVDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

- 1** ジョイスティックを操作して、メニューを選ぶ



- 2** ジョイスティックを押す

選んだメニューから再生されます。



・メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

メニュー画面を表示するには

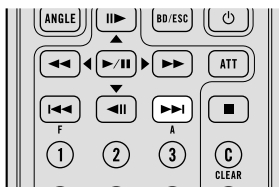
再生中にMENUボタンまたはTOP MENUボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場面から再生することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

チャプターを進める/戻す DVD

次のチャプターへ進む

- 1 再生中にスキップ (▶▶) ボタンを押す

チャプターナンバーが約 8 秒間表示され、次のチャプターに進みます。

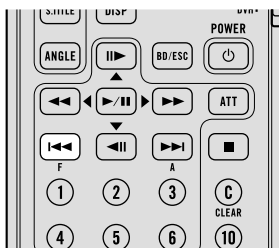


前のチャプターへ戻る

- 1 再生中にスキップ (◀◀) ボタンを押す

チャプターナンバーが約 8 秒間表示され、再生中のチャプターの先頭に戻ります。

・連続して 2 度操作すると、一つ前のチャプターの初めに戻ります。



タイトル・チャプターを指定する (ダイレクトサーチ) DVD

タイトルを指定する

- 1 停止中に、見たいタイトル番号の数字ボタンを押す

タイトルナンバーが約 8 秒間表示され、指定したタイトルから再生されます。

3 を選ぶには、3 のボタンを押します。

10 を選ぶには、10、0 と押します。

23 を選ぶには、10、10、3 の順に押します。



リモコンでの基本操作

チャプターを指定する

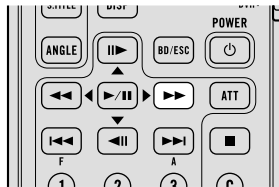
- 1** 再生中に、見たいチャプター番号の数字ボタンを押す
チャプターナンバーが約8秒間表示され、指定したタイトルから再生されます。

3を選ぶには、3のボタンを押します。
10を選ぶには、10、0と押します。
23を選ぶには、10、10、3の順に押します。



早送りする **DVD** **DVH**

- 1** 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける
押している間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。

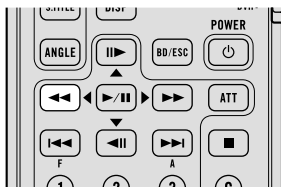


- 2** 見たい場所で手を離す
その場所から再生されます。

- ・早送り (▶▶) ボタンを5秒以上押すと、▶▶ (早送りマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早送りが継続されます。見たい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早送りできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

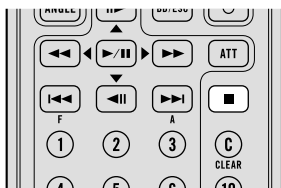
早戻しする **DVD** **DVH****1** 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける

押している間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。

**2** 見たい場所で手を離す

その場所から再生されます。

- ・早戻し (◀◀) ボタンを5秒以上押すと、◀◀ (早戻しマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早戻しが継続されます。見たい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

再生を止める **DVD****1** 停止 (■) ボタンを押す

- ・停止 (■) ボタンで再生を停止したDVDは、停止した場所を記憶します。次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。

いろいろな再生

静止画再生 DVD DVH

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます。

- 1** 再生中に再生/一時停止
(▶/||) ボタンを押す

|| (静止マーク) が約 4 秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



- ・静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、禁止マーク (禁止マーク) が表示され、静止画再生ができないことがあります。

コマ送り再生 DVD

再生中の映像を 1 コマずつ止めながら、進めて見るすることができます。

- 1** 再生中にコマ送り (||▶) ボタンを押す

コマ送り (||▶) ボタンを押すごとに、映像が 1 コマ送られます。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。




- ・コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、禁止マーク (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ・ディスクによっては、コマ送り時、映像が乱れることがあります。
- ・コマ戻しはできません。

スロー再生 **DVD**


再生のスピードを遅くして見るができます。

- 1** 再生中にコマ送り (II▶) ボタンを 1 秒以上押す

 (スロー再生マーク) が表示され、映像がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶||) ボタンを押します。



- ・スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ・ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。

いろいろな再生

再生中に音声言語を切り換える (マルチ音声) DVD

言語や音声タイプ (ドルビーデジタルやDTSなど) の違いで複数の音声収録されているDVDでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1 再生中に AUDIO ボタンを押す

音声選択マークが約 8 秒間表示されます。



音声選択マーク

2 音声選択マークが表示されている間に AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声切り換わります。



- ・ この機能は、音声複数収録されている場合だけ有効です。
- ・ DVDのパッケージに付いている ㊦ マークの数字が、収録音声の数を表しています。
- ・ ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- ・ 音声言語の切り換えは初期設定画面でも行うことができます。詳しくは、「音声言語の設定」(109ページ)をご覧ください。
- ・ DTS 音声は、デジタル出力のみ対応しています。
本機の光デジタル出力を接続していない場合、DTS 音声は出力されませんので、DTS 以外の音声を選んでください。
- ・ 音声選択マークの表示中に、聞きたい音声番号の数字ボタンを押して切り換えることもできます。
- ・ “Dolby D” や “5.1 ch” などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

再生中に字幕言語を切り換える (マルチ字幕) DVD

複数の字幕が収録されている DVD では、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 再生中に SUBTITLE ボタンを押す

字幕選択マークが約 8 秒間表示されます



字幕選択マーク

2 字幕選択マークが表示されている間に SUBTITLE ボタンを押す

ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。

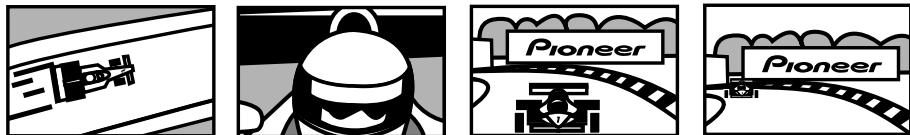


- ・この機能は、字幕が複数収録されている場合のみ有効です。
- ・DVDのパッケージに付いている 2 マークの数字が、収録字幕の数を表しています。
- ・ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- ・字幕の切り換えは初期設定画面でも行うことができます。詳しくは、「字幕言語の設定」(107ページ)をご覧ください。
- ・字幕選択マークの表示中に、表示したい字幕言語番号の数字ボタンを押して切り換えることもできます。また、このときに CLEAR ボタンを押すと、字幕をオフにすることもできます。


いろいろな再生

再生中にアングルを切り換える (マルチアングル) DVD

複数の角度 (アングル) から撮影した映像が収録されている DVD では、再生中にアングルを切り換えることができます。



アングル切り換えができる場面について

本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面右下に  (マルチアングルマーク) を表示して知らせます。マルチアングルマーク表示の ON/OFF は、初期設定画面で行います。詳しくは、「マルチアングルマーク表示 ON/OFF の設定」(115 ページ) をご覧ください。

1 再生中に ANGLE ボタンを押す

マルチアングルマークと現在のアングル番号が約 8 秒間表示されます。





マルチアングルマークとアングル番号

2 マルチアングルマークとアングル番号が表示されている間に ANGLE ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。



- ・この機能は、アングルが複数収録されている場合のみ有効です。
- ・マルチアングル収録された DVD のパッケージには、 マークが付いています。 マークの数字が、収録アングルの数を表しています。
- ・早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に ANGLE ボタンを押すと、早送り/早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り換わりません。
- ・マルチアングルマークとアングル番号の表示中に、見たいアングル番号の数字ボタンを押して切り換えることもできます。

情報画面での操作

情報画面の表示のしかた **DVD** **DVH**

タイトルやチャプター、時間で指定した場面から再生したり、リピート (繰り返し) 再生の範囲の切り換えなど、ディスク再生のほとんどの操作を行うことができます。また、音声や字幕の切り換えも行うことができます。

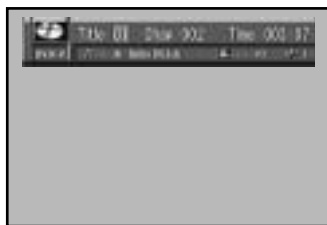
1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

情報画面 1 情報画面 2
表示オフ
情報画面 1 に戻る



情報画面 1



情報画面 2



- ・タイトル、チャプターおよび時間の指定は、情報画面 1 または 2 のどちらでも行うことができます。本書では、タイトル、チャプターおよび時間の指定については、情報画面 1 の操作で説明しています。
- ・早送り/早戻し中に DISPLAY ボタンを押すと、通常の再生になります。

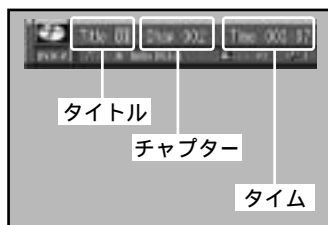
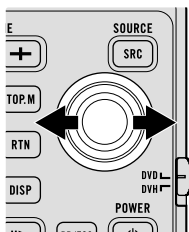
情報画面 1 での操作

見たい場面をタイトルやチャプターを指定して探すサーチ機能や、時間を指定して探すタイムサーチ機能、音声の切り換え、字幕言語の切り換え、アングルの切り換えを行うことができます。

見たい場面を探す、指定した時間から再生する [DVD] [DVH]

タイトル、チャプターを指定して見たい場面を探し再生するタイトル/チャプターサーチ機能、指定した時間から再生するタイムサーチ機能を行うことができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が青色で表示されます。




- 2** 希望の番号の数字ボタンを押す

タイトル、チャプターの場合	時間 (タイムサーチ) の場合
<p>3を選ぶには、3のボタンを押します。 10を選ぶには、1、0と押します。 23を選ぶには、2、3と押します。 選ばれているタイトル、チャプターから10進めたい場合、10を押します。 ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。 ジョイスティックで操作してください。</p>	<p>21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。 1時間11分を選ぶには、分に換算し、7、1、0、0と押します。 選ばれている時間から10秒ずつ進めたい場合、10を続けて押します。 ・リモコンがDVHモードに設定されているときは、この操作はできません。</p>

- ・ CLEAR ボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・ タイトル、チャプターの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

- 3** 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場面から再生されます。

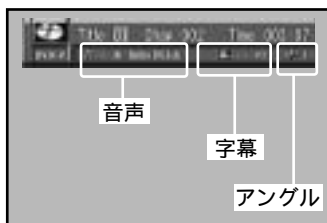
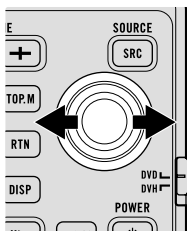
- ・ メニューのあるディスクでは、MENU ボタンまたは TOP MENU ボタンを押してメニュー画面を表示し、選ぶこともできます。
- ・ ディスクによっては、 (禁止マーク) が表示され、タイトルやチャプター、時間を指定できないことがあります。
- ・ 停止中のチャプターサーチやタイムサーチはできません。
- ・ 情報画面を表示しなくても、タイトルやチャプターを指定して再生することもできます。詳しくは「タイトル・チャプターを指定する (ダイレクトサーチ)」(31 ページ) をご覧ください。

音声、字幕、アングルの切り換え **DVD** **DVH**

ディスク再生の音声（言語、またはドルビーデジタルのような音声タイプなど）や字幕、アングルを切り換えることができます。

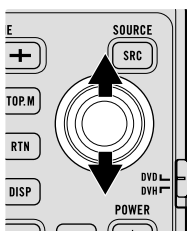
1 ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ

選んだ項目が青色で表示されます。



2 ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



音声の場合

音声 1 音声 2
音声 3

字幕の場合

字幕 1 字幕 2
字幕 3

アングルの場合

アングル 1 アングル 2
アングル 3

- ・切り換わる数は、DVDに収録されている数により異なります。
- ・音声、字幕、アングルは、再生中にそれぞれのボタンで切り換えることもできます。（36～38ページ）
- ・“Dolby D”や“5.1ch”などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

リモコンの操作モードがDVDモードの場合

- ・希望の番号の数字ボタンを押して、設定を切り換えることもできます。

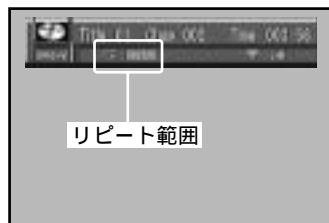
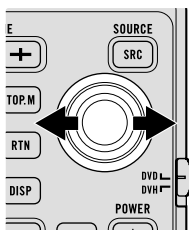
情報画面 2 での操作

この画面では、情報画面 1 のサーチ機能、タイムサーチ機能に加え、リピート(繰り返し) 範囲の切り換え、音声の出力方法の切り換えを行うことができます。

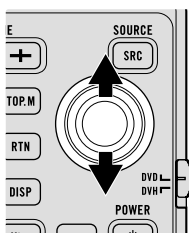
リピート範囲の切り換え **DVD** **DVH**

繰り返し再生する範囲を「ディスク」、「タイトル」、または「チャプター」に切り換えることができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ
リピート範囲の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える
選んだ設定に切り換わります。



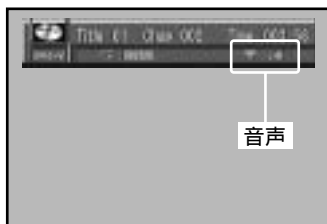
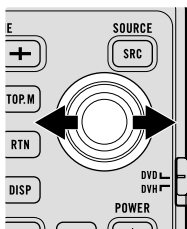
ディスク	タイトル	チャプター
ディスクにするとそのディスク全体を繰り返し再生し、タイトル/チャプターにするとそのタイトル/チャプターだけを繰り返し再生します。		

- ・ ディスクリピートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

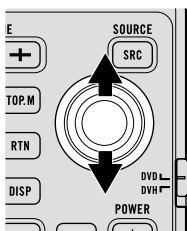
音声の出力方法の切り換え **DVD DVH**

音声の出力方法を、ステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、音声の項目を選ぶ
音声の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える
選んだ設定に切り換わります。

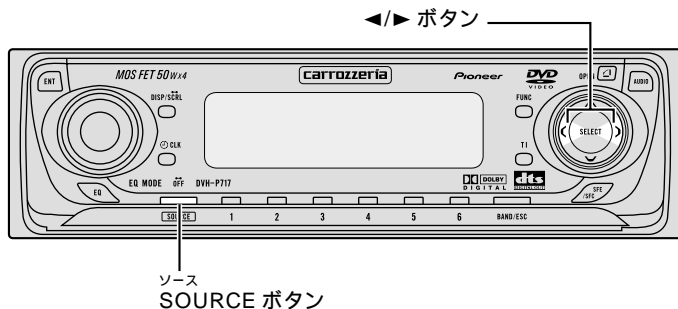


L+R (左+右) L (左) R (右)

- ・デュアルモノモードで記録されたディスクを再生しているときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。(それ以外のときは、効果はありません。)

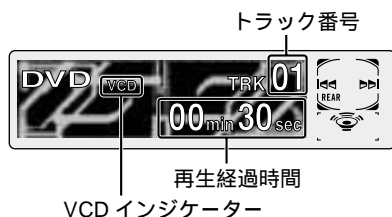
内蔵プレーヤーの操作 (ビデオCD)

本体での基本操作



ディスク再生/早送り・早戻し/トラック選択

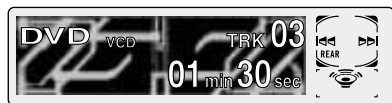
- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」21 ページ)



- ・内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に "STOP" が表示され、ボタンでの操作はできません。
- ・プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDの再生を開始すると、画面上に "PBC" が表示されます。
- ・プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDの再生中に、メニュー画面が表示された場合は、リモコンの数字 (0 ~ 10) ボタンで再生を開始してください (「メニュー画面の操作」48 ページ)。

- 2 ▶/▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のトラックを選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前のトラックを選ぶとき (または早戻し)



トラック選択と早送り/早戻しの使い分け

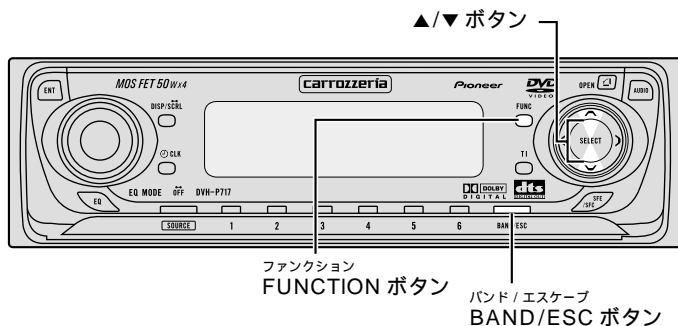
トラック選択	▶/▶ ボタンを 0.5 秒未満押したとき
早送り/早戻し	▶/▶ ボタンを 0.5 秒以上押したとき

- ・ ◀/▶ ボタンを5秒以上押し、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

3 ビデオCDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください(21、23、25ページ)。

本体のファンクションモードでの操作

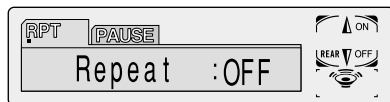


ファンクションモードの切り換え

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



Repeat (再生範囲切り換え) Pause (一時停止) Repeatに戻る

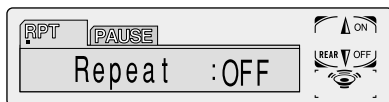
- ・ファンクションモードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

リピート再生

今再生しているトラックを繰り返し再生したり、1枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

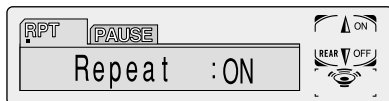
- ・プレイバックコントロール (PBC) 再生中は、リピートのON/OFFはできません。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2 ▲/▼ ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF

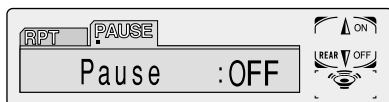


- 3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

一時停止

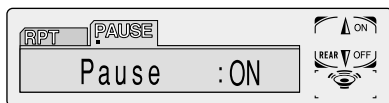
ディスクの再生を一時停止することができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2 ▲/▼ ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

リモコンでの操作

ディスク再生 DVD DVH

1 再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約 4 秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、一時停止します。



- ・すでにビデオCD (PBC再生時のみ) を使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

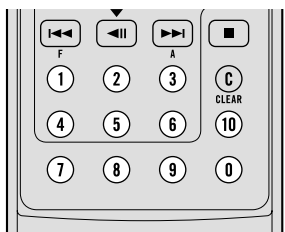
メニュー画面の操作 DVD

PBC機能付きビデオCDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

1 数字ボタンを押して、メニューを選ぶ

選んだメニューから再生されます。

ジョイスティックでは操作できません。



メニュー画面を表示するには

PBC (プレイバックコントロール) 再生中にRETURNボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

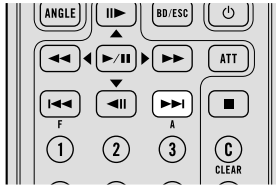
- ・メニュー画面が2ページ以上あるときは、スキップ (◀◀ または ▶▶) ボタンを押して表示を切り換えます。
- ・メニュー画面を表示しない (PBCをOFFにする) で再生するには、停止中に再生したいトラック番号の数字ボタンを押します。PBC再生に戻すには、一度停止させ再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押します。

トラックを進める/戻す **DVD**

次のトラックへ進む

- 1 再生中にスキップ (▶▶) ボタンを押す

トラックナンバーが約 8 秒間表示され、次のトラックに進みます。

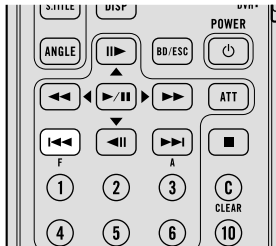


前のトラックへ戻る

- 1 再生中にスキップ (◀◀) ボタンを押す

トラックナンバーが約 8 秒間表示され、再生中のトラックの先頭に戻ります。

・連続して 2 度操作すると、一つ前のトラックの初めに戻ります。



トラックを指定する (ダイレクトサーチ) **DVD**

トラックを指定する

- 1 停止中に、見たいトラック番号の数字ボタンを押す


トラックナンバーが約 8 秒間表示され、指定したトラックから再生されます。

3 を選ぶには、3 のボタンを押します。

10 を選ぶには、10、0 と押します。

23 を選ぶには、10、10、3 の順に押します。



・ディスクによっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。

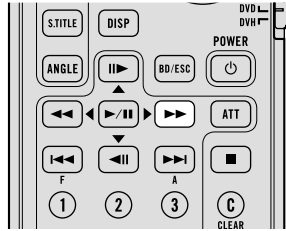
・PBC (プレイバックコントロール) 再生中にダイレクトサーチをすることはできません。

リモコンでの操作

早送りする **DVD** **DVH**

1 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける

押し続けている間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。



2 見たい場所で手を離す

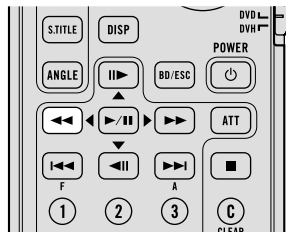
その場所から再生されます。

- ・早送り (▶▶) ボタンを5秒以上押し続けると、▶▶ (早送りマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早送りが継続されます。見たい/聞きたい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早送りできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

早戻しする **DVD** **DVH**

1 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける

押し続けている間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。



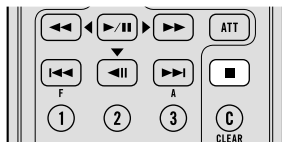
2 見たい場所で手を離す

その場所から再生されます。

- ・早戻し (◀◀) ボタンを5秒以上押し続けると、◀◀ (早戻しマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早戻しが継続されます。見たい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

再生を止める **[DVD]**

1 停止 (■) ボタンを押す



- ・停止 (■) ボタンで再生を停止したビデオCD (PBC再生時のみ) は、停止した場所を記憶します。次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。

静止画再生 **[DVD]** **[DVH]**

再生中の映像を一時停止して、静止画として見るすることができます。

1 再生中に再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押す

[||] (静止マーク) が約4秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



- ・静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、**[禁止マーク]** が表示され、静止画再生ができないことがあります。

情報画面での操作

情報画面の表示のしかた **DVD** **DVH**

見たい場面をトラックを指定して探すサーチ機能や時間を指定して探すタイムサーチ機能、音声の出力方法の切り換え、リピート範囲の切り換えを行うことができます。PBC(プレイバックコントロール)再生中は“PLAYBACK CONTROL ON”が表示され、サーチ機能やタイムサーチ機能、リピート範囲の切り換えはできません。(48ページ)

1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

情報画面 表示オフ
情報画面に戻る



情報画面

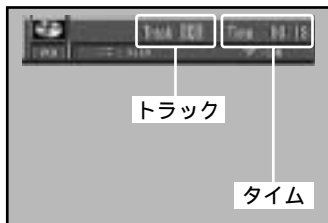
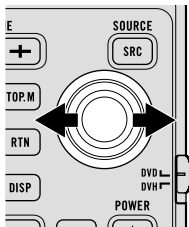


- ・ 早送り/早戻し中に DISPLAY ボタンを押すと、通常の再生になります。

見たい場面を探す、指定した時間から再生する **DVD** **DVH**

トラックを指定して見たい場面を探し再生するトラックサーチ機能、指定した時間から再生するタイムサーチ機能を行うことができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が青色で表示されます。



- 2** 希望の番号の数字ボタンを押す

トラックの場合

3を選ぶには、3のボタンを押します。

10を選ぶには、1、0と押します。

23を選ぶには、2、3と押します。

選ばれているトラックから10進めたい場合、10を押します。

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。ジョイスティックで操作してください。

時間(タイムサーチ)の場合

21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。

1時間11分を選ぶには、分に換算し、7、1、0、0と押します。

選ばれている時間から10秒ずつ進めたい場合、10を続けて押します。

- ・リモコンがDVHモードに設定されているときは、この操作はできません。

- ・CLEARボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・トラックの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

- 3** 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場面から再生されます。

- ・停止中のチャプターサーチやタイムサーチはできません。
- ・情報画面を表示しなくても、タイトルやチャプターを指定して再生することもできます。詳しくは「トラックを指定する(ダイレクトサーチ)」(49ページ)をご覧ください。

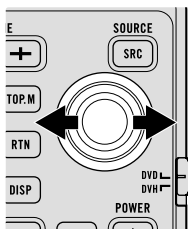
情報画面での操作

リピート範囲の切り換え **DVD** **DVH**

繰り返し再生する範囲を「ディスク」、または「トラック」に切り換えることができます。

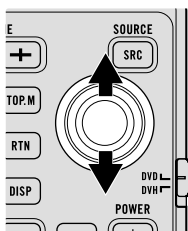
- 1** ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



ディスク トラック

ディスクにするとそのディスク全体を繰り返し再生し、トラックにするとそのトラックだけを繰り返し再生します。

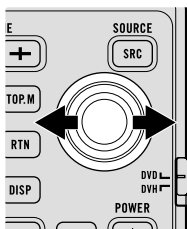
- ・ディスクリピートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

音声の出力方法の切り換え **DVD DVH**

音声の出力方法を、ステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

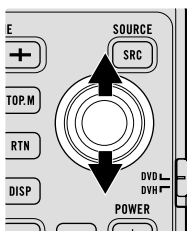
- 1** ジョイスティックを左右に操作して、音声の項目を選ぶ

音声の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

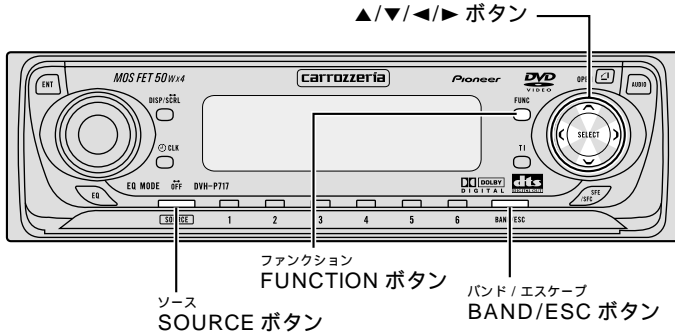
選んだ設定に切り換わります。



L+R (左+右) L (左) R (右)

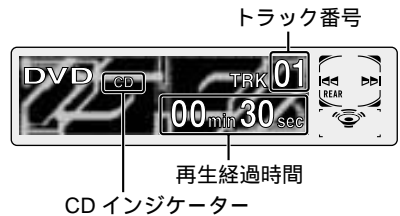
内蔵プレーヤーの操作 (CD)

本体での基本操作



ディスク再生/早送り・早戻し/トラック選択

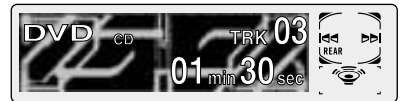
- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」21 ページ)



- ・内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に "STOP" が表示され、ボタンでの操作はできません。

- 2** ◀/▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のトラックを選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前のトラックを選ぶとき (または早戻し)



- ・◀/▶ ボタンを5秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。

トラック選択と早送り/早戻しの使い分け

トラック選択	◀/▶ ボタンを0.5秒未満押したとき
早送り/早戻し	◀/▶ ボタンを0.5秒以上押したとき

- 3** CDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください (21、23、25 ページ)。

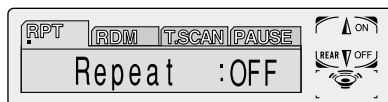
本体のファンクションモードでの操作

ファンクションモードの切り換え

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



Repeat (リピート再生) Random (ランダム再生) (58 ページ)
Track Scan (スキキャン再生) (58 ページ) Pause (一時停止) (59 ページ)
Repeatに戻る

- ・ファンクションモードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

リピート再生

今再生しているトラックを繰り返し再生したり、1 枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



2 ▲/▼ ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF



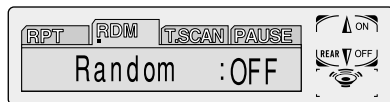
3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

本体のファンクションモードでの操作

ランダム再生

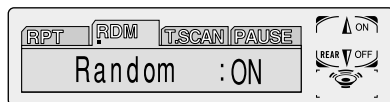
選曲を内蔵プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 2** ▲/▼ ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF

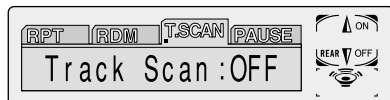


- 3** BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

スキャン再生

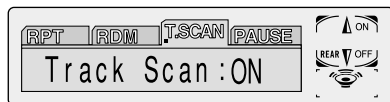
曲の初めの部分だけを、約 10 秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ

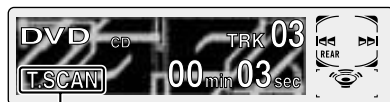


- 2** ▲ ボタンを押す

スキャン再生が ON になります。
曲の始めの約 10 秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約 30 秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

- 3** 聞きたい曲が再生されたら、▼ボタンを押す
スキャン再生がOFFになります。



- ・ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

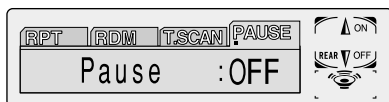
- 4** BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

一時停止

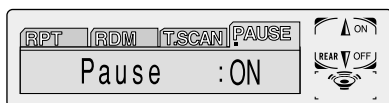
ディスクの再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲/▼ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF



- 3** BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



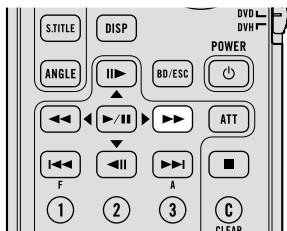
一時停止中に表示されます。

リモコンでの操作

早送りする DVD DVH

1 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける

押し続けている間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。



2 聞きたい場所で手を離す

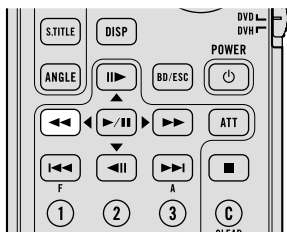
その場所から再生されます。

- ・ 早送り (▶▶) ボタンを5秒以上押すと、▶▶ (早送りマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早送りが継続されます。聞きたい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ ディスクの最初まで早送りしたときは、通常の再生に切り換わります。

早戻しする DVD DVH

1 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける

押し続けている間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。



2 聞きたい場所で手を離す

その場所から再生されます。

- ・ 早戻し (◀◀) ボタンを5秒以上押すと、◀◀ (早戻しマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早戻しが継続されます。聞きたい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ ディスクの最初まで早戻ししたときは、通常の再生に切り換わります。

一時停止 **DVD** **DVH**

ディスクの再生を一時停止することができます。

- 1 再生中に再生/一時停止
(▶/||) ボタンを押す

|| (静止マーク) が約 4 秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



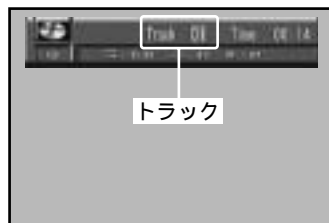
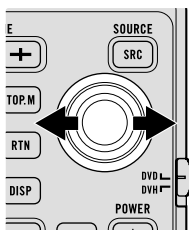
情報画面での操作

トラックを指定して聞きたい場所を探すサーチ機能、リピート範囲の切り換え、ランダム再生のオン/オフ、スキャン再生のオン/オフを行うことができます。

聞きたい場所を探す **DVD** **DVH**

トラックを指定して聞きたい場所を探し再生するトラックサーチ機能を行うことができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、トラックの項目を選ぶ
トラックの項目が青色で表示されます。



- 2** 希望の番号の数字ボタンを押す

3を選ぶには、3のボタンを押します。
10を選ぶには、1、0と押します。
23を選ぶには、2、3と押します。
選ばれているトラックから10進めたい場合、10を押します。
・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。
ジョイスティックで操作してください。

- ・ CLEAR ボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・ トラックの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

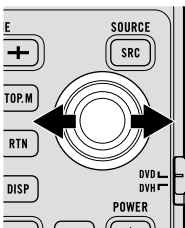
- 3** 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す
選んだ場所から再生されます。

リピート範囲の切り換え **DVD** **DVH**

繰り返し再生する範囲を「ディスク」または「トラック」に切り換えることができます。

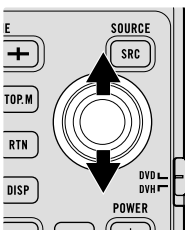
- 1** ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



ディスク トラック

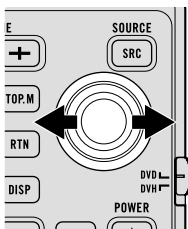
ディスクにするとそのディスク全体を繰り返し再生し、トラックにするとそのトラックのみを繰り返し再生します。

情報画面での操作

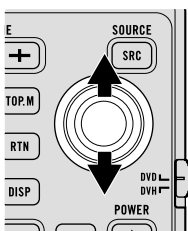
ランダム再生のオン/オフ DVD DVH

選曲を内蔵プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、ランダム再生の項目を選ぶ
ランダム再生の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える
オン オフ
オンにすると、ランダム再生が始まります。

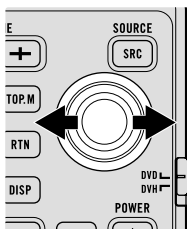


スキャン再生のオン/オフ **DVD DVH**

曲の初めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、スキャン再生の項目を選ぶ

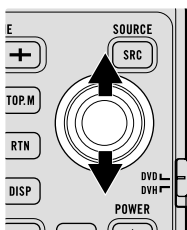
スキャン再生の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オン オフ

オンにすると、スキャン再生が始まります。

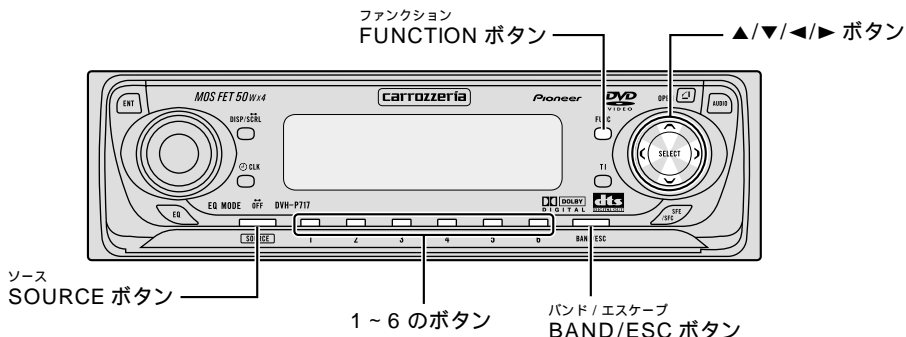


- 3** 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを操作してオフに切り換える

・スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

ラジオの操作

ラジオの操作



バンド選択/放送局選択

リモコンの操作モードが DVH モードの場合

・リモコンの操作モードが DVH モードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、ラジオの操作をすることができます。リモコンの操作モードが DVD モードの場合、リモコンでの操作はできません。

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースをラジオに切り換える
(「ソースを選ぶ」21 ページ)



ステレオ放送を受信すると表示されます。

- 2** BAND/ESC ボタンを押す
BAND/ESC ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



FM1 FM2 AM1 AM2 FM1...

現在選択しているバンドが表示されます。

- ・バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。
- ・バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておき、旅行先など、どんな放送局があるか分からない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

- 3** ◀/▶ ボタンを押して、放送局を選局する

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



選局方法の使い分け

手動選曲 (1 ステップずつ)	◀/▶ ボタンを 0.5 秒未満押したとき
自動選局	◀/▶ ボタンを 0.5 秒以上押したとき

- ・ 0.5 秒以上押し続けている間、途中の放送局を飛ばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- ・ 電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。
- ・ 本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます (「放送局名選択」70 ページ)。

4 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にしてください (21、23 ページ)。

プリセットメモリー

1 ~ 6 のボタンに、お好みの放送局を、1 局ずつ手動で記憶させることができます。

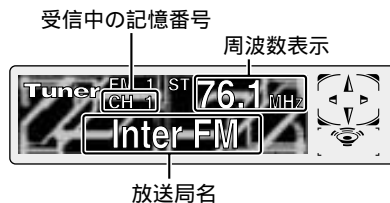
1 BAND/ESC ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

2 ◀/▶ ボタンを押して記憶させたい放送局を選局する

3 1 ~ 6 のボタンの 1 つを 2 秒以上押して放送局を記憶させる

押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。



- ・ 記憶させた放送局を呼び出すには (「プリセットチューニング」69 ページ)。

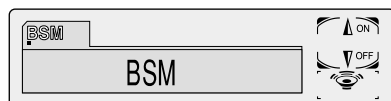
ラジオの操作

BSM (ベストステーションズメモリー)

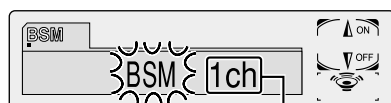
受信状態の良い放送局を探して、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 BAND/ESC ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

2 FUNCTION ボタンを押して、BSM モードを選ぶ



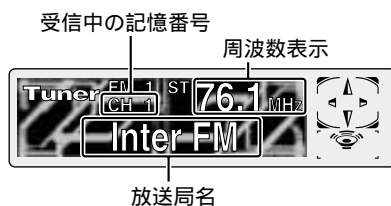
3 ▲ ボタンを押して、BSM を開始する
(▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶動作中に 1ch～6ch
表示します。

記憶が終わると点滅が終わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。



4 BAND/ESC ボタンを押して、BSM モードを解除する

- ・受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・記憶させた放送局を呼び出すには(「プリセットチューニング」)。
- ・BSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

プリセットチューニング

「プリセットメモリー」(67ページ)や「BSM (ベストステーションズメモリー)」で記憶させた放送局を簡単に呼び出すことができます。

順送り/逆送りで選ぶ (シーケンシャルリコール)

1 BAND/ESC ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

2 ▲/▼ ボタンを押して、記憶させた放送局を呼び出す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

プリセット番号を直接指定する (ダイレクトリコール)

1 BAND/ESC ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

2 1 ~ 6 のボタンを押して、記憶させた放送局を呼び出す



受信中の記憶番号

ラジオの操作

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0 MHzを使用している放送局は「TOKYO FM」「FM 愛媛」「FM 福岡」など複数あります。) 本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局が受信している放送局と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 BAND/ESC ボタンを押して、バンドを選ぶ

2 ◀▶ ボタンを押して変更したい放送局を選局する

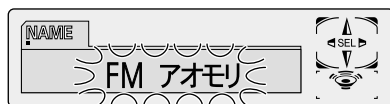
3 FUNCTION ボタンを2秒以上押して放送局名選択モードにする



4 ◀▶ ボタンを押して放送局名を選ぶ

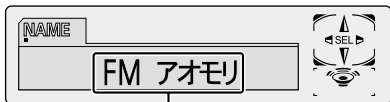
▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

5 ▲ ボタンを押して放送局名を変更する



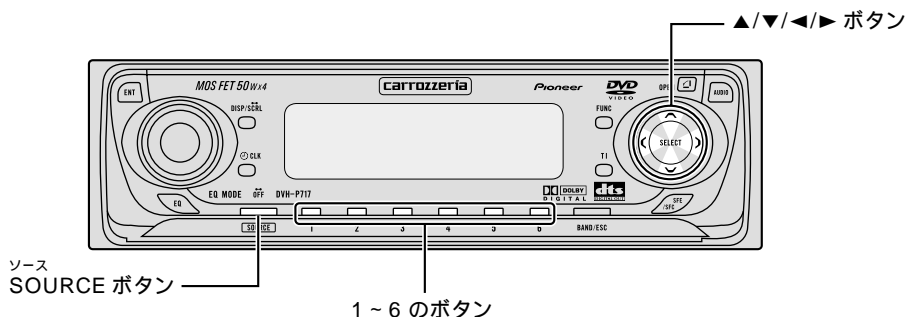
点滅が終わり、放送局名を記憶します。

6 BAND/ESC ボタンを押して、放送局名選択モードを解除する

- ・ 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“No Data”と表示されます。
- ・ 放送局名を表示させたくないときは、“_____” (全て空白) を選んでください。
- ・ パイオニア製のFM モジュレータータイプのマルチCD (「CDX-P653」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- ・ パイオニア製のTVをFM モジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM TVsound”に変更して表示することができます。

マルチCDの操作

マルチCDの基本操作

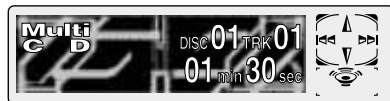


ディスクサーチ/トラックサーチ/早送り・早戻し

リモコンの操作モードがDVHモードの場合

・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、マルチCDの操作をすることができます。リモコンの操作モードがDVDモードの場合、リモコンでの操作はできません。

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースをマルチCDに切り換える
(「ソースを選ぶ」21ページ)



- 2** ▲/▼ ボタンを押して聞きたいCDを選ぶ
▲ : 次のCDを選ぶとき
▼ : 前のCDを選ぶとき



CD 番号

- 3** ◀/▶ ボタンを押して、選曲する
▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

選曲 ◀/▶ ボタンを 0.5 秒未満押したとき

早送り/早戻し ◀/▶ ボタンを 0.5 秒以上押したとき

- ・「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときは、表示しません。

4 マルチCDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにしてください(21、23ページ)。

- ・マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。
- ・マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAGAZINE”が表示されます。

聞きたいCDを直接選ぶ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

1 1～6のボタンの1つを押して、聞きたいCDを選ぶ

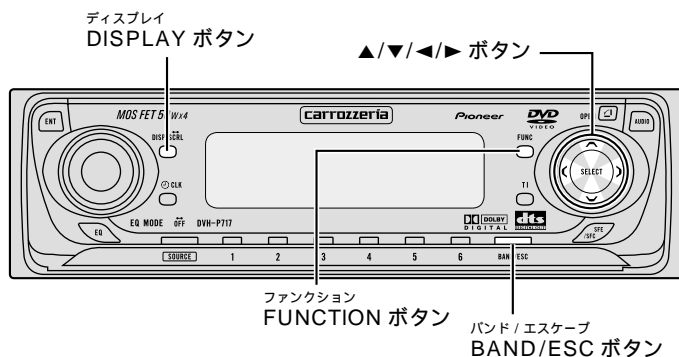
2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



CD 番号

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作



ファンクションモードの切り換え

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



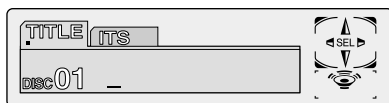
Repeat (再生範囲切り換え) タイトルリストモード Random (ランダムモード)
 Scan (スキャンモード) ITS Play (ITS 再生モード) Pause (一時停止)
 Comp. (COMP 切り換えモード) Repeat に戻る

- ・ファンクションモードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する「ITS機能」や、CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力しておく「タイトル入力機能」などを使うときは、詳細設定モードを切り換えて操作します。

- 1 FUNCTION ボタンを2秒以上押し、
詳細設定モードに切り換える



- 2 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード ITS入力モード タイトル入力モードに戻る

- ・ 詳細設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。
- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。（「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。）

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

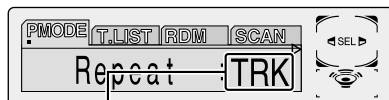
再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次のようになっています。

再生範囲	リピート再生の内容
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。 (通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードにする



- 2** ◀▶ ボタンを押して再生範囲を切り換える



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

TRK (トラックリピート) DISC (ディスクリピート) MCD (マルチCDリピート)
TRKに戻る

- 3** BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

スキャン再生

今聞いているCDの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全てのCDの1曲目の部分だけを次々に聞くこともできます。

1 「リピート再生」を参照して、再生範囲を切り換える

選んだ再生範囲内でスキャン再生が行われます。

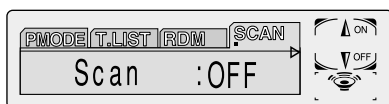
聞きたい曲を探すとき

ディスクリピートまたはトラックリピートにしてください。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生します。

聞きたいCDを探すとき

マルチCDリピートにしてください。マルチCD内の全てのCDの1曲目を、約10秒ずつ再生します。

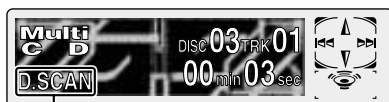
2 FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードにする



3 ▲ ボタンを押してスキャン再生をONにする 曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。

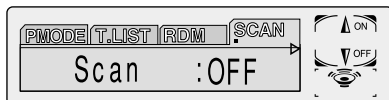


スキャン再生中に表示されます。

表示と再生範囲の関係は、次のようになっています。

表示	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート・トラックリピート
D.SCAN	マルチCDリピート

4 ▼ ボタンを押してスキャン再生をOFFにする



- ・ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

5 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・スキャン再生を始めた曲(またはCD)まで戻るとスキャン再生は解除されます。

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

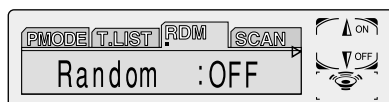
ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 「リピート再生」(76 ページ) を参照して、再生範囲を切り換える

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードにする



3 ▲/▼ ボタンを押す

▲ : ON

▼ : OFF



4 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示と再生範囲の関係は、次のようになっています。

表示	再生範囲
D.RANDOM	ディスクリピート・トラックリピート
RANDOM	マルチCDリピート

ITS 記憶

記憶させた曲だけ再生する（「ITS 再生」80 ページ）ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチ CD に記憶させておきます。

ITS について

ITS とは、Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション) の略です。ITS は、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する（「ITS 再生」80 ページ）機能です。

- 曲の記憶は CD ごとに行われます。CD を入れ換えても、その CD の記憶は消えません。
- CD 1 枚につき 99 曲まで記憶することができます。(CDX-P1250、CDX-P650 以前に発売されたマルチ CD では記憶できる曲が 24 曲までになります。)
- ITS は、タイトル（「タイトル入力」82 ページ）と合わせて CD 100 枚分の記憶ができます。
- 100 枚を超えたときは、いちばん古い CD の記憶が消されて、新しい CD が記憶されます。

1 ▲/▼ ボタンを押して、記憶させたい CD を再生する

2 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す
ITS 入力モードにしてください。



3 ◀/▶ ボタンを押して、記憶させたい曲を選ぶ

4 ▲ ボタンを押して再生中の曲を記憶させる



約 2 秒間表示され、記憶したことを知らせます。

5 BAND/ESC ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

ITS 再生

ITS 記憶（「ITS 記憶」79 ページ）で記憶させた曲だけを再生することができます。

- 1 「リピート再生」（76 ページ）を参照して、再生範囲を切り換える
選んだ再生範囲内で ITS 再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ITS 再生モードにする



- 3 ▲/▼ ボタンを押す

▲ : ON

▼ : OFF



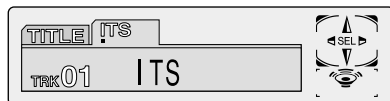
- 4 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・手順 1 で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS Empty” が約 2 秒間表示されて、ITS 再生は行われません。

ITS 消去 (1 曲ごと)

記憶させた曲を 1 曲ずつ消すことができます。

- 1 ITS 再生を ON にする（「ITS 再生」）
- 2 ◀/▶ ボタンを押して消去したい曲を選ぶ
- 3 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す
ITS 入力モードにしてください。



- 4** ▼ボタンを押して、再生中の曲を消去する
再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。



次に記憶されている曲

- 5** BAND/ESC ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

・現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS Empty” が約 2 秒間表示されて、ITS 再生が OFF になります。

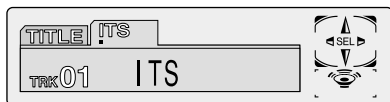
ITS 消去 (CD ごと)

記憶させた曲を CD ごとに消すことができます。

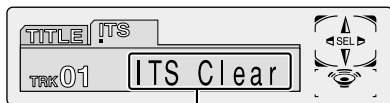
- 1** ▲/▼ボタンを押して、消去したい CD を選ぶ

ITS 再生が ON になっているときは、ITS 再生を OFF にしてください
(「ITS 再生」80 ページ)。

- 2** FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、
FUNCTION ボタンを押す
ITS 入力モードにしてください。



- 3** ▼ボタンを押して、再生中の CD を消去する



約 2 秒間表示され、消去されたことを知らせます。

- 4** BAND/ESC ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる（「ディスクタイトル表示」84ページ）ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

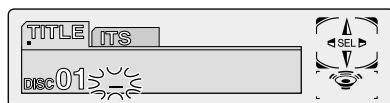
CDにタイトルをつけるとタイトルリスト（「タイトルリスト」86ページ）で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト（「タイトルリスト」86ページ）をすることができます。

- ・タイトルは10文字まで入力できます。
- ・記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- ・タイトルは、ITS（「ITS記憶」79ページ）と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- ・100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 ▲/▼ ボタンを押して、タイトルを入力したいCDを再生する

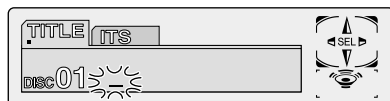
2 FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す
タイトル入力モードにしてください。



3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

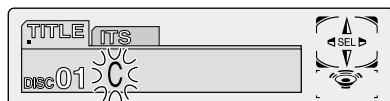
- ◀：左に移動させるとき
- ▶：右に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。
10文字まで入力できます。

入力する文字を選ぶとき

- ▲：次の文字を選ぶとき
- ▼：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

押すボタンと選べる文字の関係は次のようになっています。

押すボタン	選べる文字
1 ボタン (1 ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、&など)、空白 ()
2 ボタン	数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、&など)、空白 ()
3 ボタン (3 ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン)、音引き (ー)、空白 () 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、(A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、空白 ()

4 入力が終わったら、10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 ▶ ボタンを押して、入力したタイトルを記憶させる



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

6 BAND/ESC ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

- ・タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND/ESC ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

ディスクタイトル表示

タイトル入力（「タイトル入力」82ページ）で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (Disc Title)

再生経過時間表示に戻る



- ・「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。（「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。）

タイトル表示

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしたときに、Disc Title（ディスク名）、DiscArtist Name（歌手名）などを表示させることができます。一度に全角で8文字、半角で16文字表示まで表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）

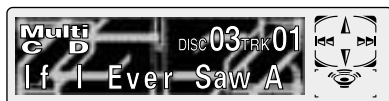


- ・表示を Disc Title（ディスク名）、Track Title（タイトル名）などに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

表示切り換え

1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示 ディスクタイトル (Disc Title)

ディスクアーティストネーム (DiscArtist Name)

トラックタイトル (Track Title) トラックアーティストネーム (TrackArtist Name)

再生経過時間表示に戻る

- ・トラックアーティストネーム (TrackArtist Name) などが収録されていないCD で表示を切り換えると、“NO T-Artist Name” などが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。

本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

タイトルリスト

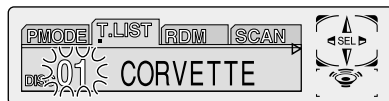
CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、タイトルリストモードにする



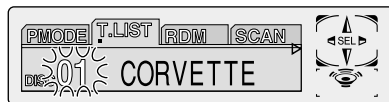
- 2** ◀▶ ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶ

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。

- 3** ▲ ボタンを押して、選んだCDを再生する



選んだCDが再生されます。

- 4** BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

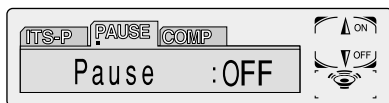
・タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO Title”が表示されます。

一時停止

CD再生を一時停止することができます。

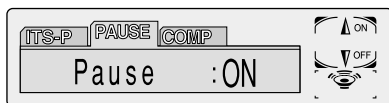
本体での操作

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードにする



- 2 ▲/▼ ボタンを押す

▲ : ON
▼ : OFF



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

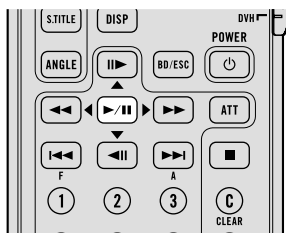


一時停止中に表示されます。

リモコンでの操作

- 1 再生中に再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押す

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



本体のファンクションモード・詳細設定モードでの操作

CDの音質を調整する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

COMP について

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBE について

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、COMP 切り換えモードにする



現在の COMP/DBE の状態が表示されます。

- ・ COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“No Comp.”が表示されて、操作ができません。

- 2 ▲/▼ ボタンを押して COMP/DBE の機能を選ぶ
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

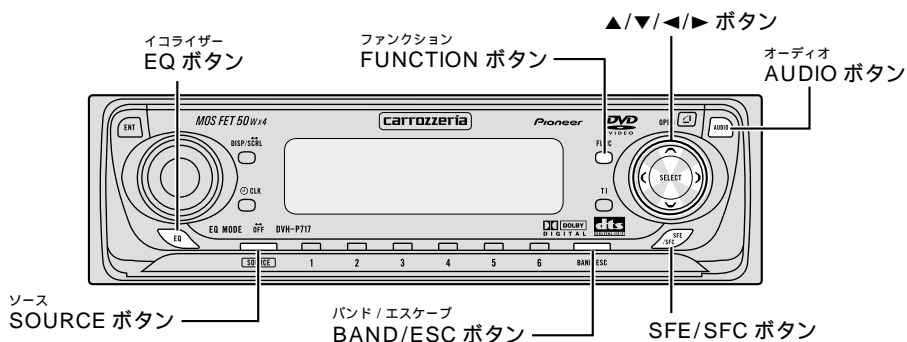
COMP OFF COMP 1 (コンプレッション 1)
COMP 2 (コンプレッション 2) COMP OFF
DBE 1 DBE 2 最初のCOMP OFFに戻る

- 3 BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ COMP、DBE ともに 1 より 2 の方が効果が大きくなります。

音の調節

音の調節 (イコライザー調節)



お好みの音の空間に設定する

ボーカルや楽器などの音像を明確にし、自然で心地よい音の空間を手軽に演出することができます。さらに乗車位置を選択することで、よりお好みにあった設定にすることができます。

SFE について

FRT1 は、フロント出力の高音域と、リア出力の低音域を押し上げます。

FRT2 は、フロント出力の高音域・低音域と、リア出力の低音域を押し上げます。(低音域の押し上げは、フロント/リア共通です。)

- 1 SFE/SFC ボタンを押してから、
SFE/SFC ボタンを押す

SFE モードを切り換えてください。

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FRT 1-H FRT 1-L FRT 2-H FRT 2-L
CUSTOM SFE OFF FRT 1-Hに戻る

- 2 ◀/▶ ボタンを押して、乗車位置を切り換える

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき

LEFT (左)、CENTER (中央)、RIGHT (右) の
中から選ぶことができます。



- ・ SFEとはSound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー) の略です。
- ・ FRT1、FRT2ともに、“L”より“H”の方が効果が大きくなります。
- ・ “CUSTOM”には、低音、高音をお好みに合わせて調節したSFEモードが記憶されます。(「低音を調節する」96ページ、「高音を調節する」96ページ)
- ・ SFEモードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFEモードとハイパスフィルターを組み合わせ設定するときは、SFEモードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CUSTOM 1 について

“CUSTOM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(External1とExternal2は、同じ設定になります。) “CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。

CUSTOM 2 について

“CUSTOM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。“CUSTOM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CUSTOM2”として記憶されます。

- 1 EQボタンを押してから、EQボタンを押す

イコライザーモードを切り換えてください。

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



POWERFUL NATURAL VOCAL

CUSTOM 1 (「お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する」94ページ)

CUSTOM 2 (「お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する」94ページ)

FLAT SUPER BASS POWERFULに戻る

音の調節 (オーディオ調節モード)

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

リモコンの操作モードがDVHモードの場合

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、オーディオ調節モードの操作をすることができます。リモコンの操作モードがDVDモードの場合、リモコンでの操作はできません。

1 AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



音量バランス調節モード (93 ページ) イコライザー調節モード (94 ページ)

低音調節モード (96 ページ) 高音調節モード (96 ページ)

ラウドネスモード (97 ページ)

サブウーファーモード (100 ページ) ¹ / ノンフェーディングモード (102 ページ) ²

サブウーファー調節モード (100 ページ) ¹ / ノンフェーディング調節モード (102 ページ) ²

ハイパスフィルターモード (103 ページ) SLA モード (104 ページ) ³

音量バランス調節モードに戻る

- ・オーディオ調節モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- ¹ サブウーファーモードは、サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”以外にしているときだけ切り換わります。また、サブウーファーモードをONにしているときだけ、サブウーファー調節モードに切り換わります。
- ² ノンフェーディングモードは、サブウーアーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”にしているときだけ切り換わります。また、ノンフェーディングモードをONにしているときだけ、ノンフェーディング調節モードに切り換わります。
- ³ ラジオのFMを聞いているときは、SLAモードには切り換わりません。
- ・本機に、5.1ch対応・DSPユニット(「DEQ-P7」)を接続しているときは、5.1ch対応・DSPユニット(「DEQ-P7」)のオーディオ調節モードに切り換わります。詳しくは、5.1ch対応・DSPユニット(「DEQ-P7」)の取扱説明書をご覧ください。

前後左右の音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、音量バランス調節モードにする



- 2** ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、音量バランスを調節する

前後を調節するとき

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき

前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。



左右を調節するとき

◀：左を強めるとき

▶：右を強めるとき

左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。



- 3** BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

・リア出力の設定（「リアの出力方法を変える」123ページ）を“Rear SP :S.W”にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。

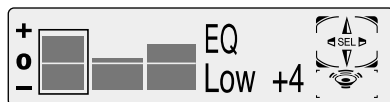
音の調節 (オーディオ調節モード)

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 EQ ボタンを押して、調節したいイコライザーカーブに切り換える

2 AUDIO ボタンを押して、イコライザー調節モードにする



3 ◀/▶ ボタンを押して、バンドを選ぶ

Low (低音)、Mid (中音)、High (高音) の中から選ぶことができます。



4 ▲/▼ を押して、レベルを調節する

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

5 BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ “CUSTOM2” 以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1” に記憶されます。また、イコライザーカーブ表示は、調節時に選んだカーブが表示されます。
- ・ 交通情報（「交通情報を受信する」127 ページ）を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

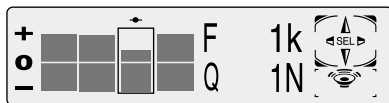
1 AUDIO ボタンを2秒以上押して、イコライザーカーブ詳細設定モードにする



2 バンドを選んで、中心周波数とQファクターを調節する

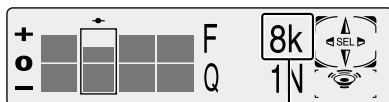
AUDIO ボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに Low、Mid、High が切り換わります。



表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160 のいずれか	Low
200、500、1k、2k のいずれか	Mid
3.15k、8k、10k、12.5k のいずれか	High

◀/▶ ボタンを押して中心周波数を選ぶ

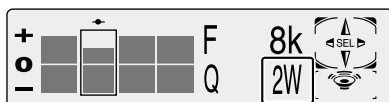


選んだ周波数が表示されます。

▲/▼ ボタンを押して、選んだバンドの Q ファクター (イコライザーカーブの傾き) を選ぶ

▲ : 強めるとき

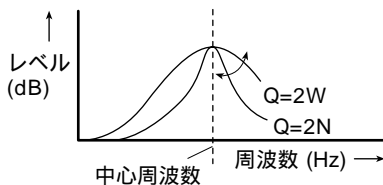
▼ : 弱めるとき



2N、1N、1W、2W の中から選ぶことができます。

- ・ Q ファクター (イコライザーカーブの傾き) は、2N が最も急な傾きになり、1N、1W、2W の順で傾きがゆるやかになります。

Q ファクターの概念図は右のようになります。



3 BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

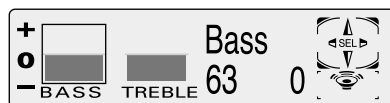
- ・ “CUSTOM2” 以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1” に記憶されます。
- ・ 交通情報 (「交通情報を受信する」127 ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。

音の調節 (オーディオ調節モード)

低音を調節する

低音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。SFE (「好みの音の空間に設定する」90 ページ) が FRT1 のときは、低音調節はリア出力だけに効果があります。

- 1** AUDIO ボタンを押して、低音調節モードにする



- 2** ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

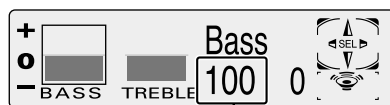
- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき

周波数は 40、63、100、160 (Hz) のの中から選ぶことができます。

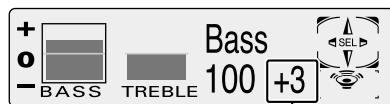
レベルを調節するとき

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 6 から + 6 の範囲で調節できます。



周波数表示



レベル表示

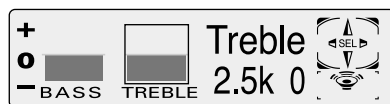
- 3** BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

・ SFE が FRT1 のときは、フロント出力の低音を調節することはできません。

高音を調節する

高音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。SFE (「好みの音の空間に設定する」90 ページ) が FRT1 または FRT2 のときは、高音調節はフロント出力だけに効果があります。

- 1** AUDIO ボタンを押して、高音調節モードにする



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき

周波数は 2.5、4、6.3、10 (kHz) のの中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 6 から + 6 の範囲で調節できます。



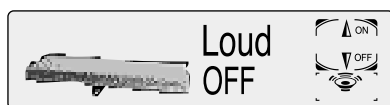
3 BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SFE が FRT1 または FRT2 のときは、フロント出力の低音を調節することはできません。

小音量時の音にメリハリをつける

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 AUDIO ボタンを押して、ラウドネスモードにする



2 ▲/▼ ボタンを押す

- ▲ : ON
- ▼ : OFF



3 ◀/▶ ボタンを押して、効果量を選ぶ

- ▶ : 効果を大きくするとき
- ◀ : 効果を小さくするとき

Low (弱)、Mid (中)、High (強) のの中から選ぶことができます。



4 BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

音の調節 (オーディオ調節モード)

サブウーファースの接続方法に合わせた設定にする

サブウーファースの接続のしかたによって、「リア出力の設定」や「サブウーファースコントロールの設定」を変える必要があります。接続方法に合わせて、下記の操作を行ってください。

本機のリアスピーカー端子にサブウーファースを接続した場合

- 1 SOURCE ボタンを 1 秒以上押して本機の電源を OFF にする
- 2 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す
リア出力設定モードにしてください(「リアの出力方法を変える」123 ページ)。
- 3 ▼ ボタンを押して、“Rear SP : S.W” にする
- 4 BAND/ESC ボタンを押してモードを解除する
- 5 サブウーファースモードにして、サブウーファースを ON にする
サブウーファースモード(「サブウーファースを使う」100 ページ)を参照して、サブウーファースを ON にする。

・ “Sub-W1” を ON にすると、位相は自動的に “Normal” に設定されます。必要に応じて位相やカットオフ周波数、レベルなどを調節してください(「サブウーファースを使う」100 ページ)。

RCA 出力を使用し、外部アンプにサブウーファースを接続した場合

本機でサブウーファースを調節する場合

- 1 SOURCE ボタンを 1 秒以上押して本機の電源を OFF にする
- 2 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す
リア出力設定モードにしてください(「リアの出力方法を変える」123 ページ)。
- 3 ▲ ボタンを押して、“Rear SP : FULL” にする
- 4 ◀ ボタンを押して、“S.W Control : INT” にする
- 5 BAND/ESC ボタンを押してモードを解除する
- 6 サブウーファースモードにして、サブウーファースを ON にする
サブウーファースモード(「サブウーファースを使う」100 ページ)を参照して、サブウーファースを ON にする。

・ “Sub-W1” を ON にすると、位相は自動的に “Normal” に設定されます。必要に応じて位相やカットオフ周波数、レベルなどを調節してください(「サブウーファースを使う」100 ページ)。

外部アンプでサブウーファーを調節する場合

- 1 SOURCE ボタンを 1 秒以上押して本機の電源を OFF にする
- 2 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す
リア出力設定モードにしてください (「リアの出力方法を変える」123 ページ)。
- 3 ▲ ボタンを押して、“Rear SP : FULL” にする
- 4 ▶ ボタンを押して、“S.W Control : EXT” にする
- 5 BAND/ESC ボタンを押してモードを解除する
- 6 ノンフェーディングモードにして、ノンフェーディングを ON にする
ノンフェーディングモード (「外部アンプなどでサブウーファーを調節する」102 ページ)
を参照して、ノンフェーディングを ON にする。

・必要に応じてレベルを調節してください (「外部アンプなどでサブウーファーを調節する」102 ページ)。

音の調節 (オーディオ調節モード)

サブウーファーを使う

本機では、リアスピーカー端子または、RCA 出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は初期設定で ON になっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転 (干涉) すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相 (フロント/リアスピーカーと同時に出力される) が良いか、逆相 (フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される) が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、サブウーファーモードにする



- 2** ▲ ボタンを押して、サブウーファーを ON にする

▲ : ON

▼ : OFF



- 3** ◀▶ ボタンを押して位相を切り換える

▶ : Normal (正相)

◀ : Rev. (逆相)

Rev.とNormalに切り換えることができます。



- 4** AUDIO ボタンを押して、サブウーファー調節モードにする



5 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

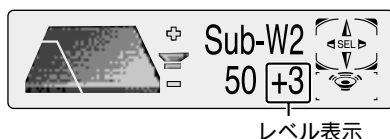
- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき

周波数は 50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 6 から + 6 の範囲で調節できます。



6 BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールを“ S.W Control:EXT ”にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません (「リアの出力方法を変える」123 ページ)。
- ・サブウーファーを OFF にしたときは、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

音の調節 (オーディオ調節モード)

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

本機のローパスフィルターを通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができ、さらにその出力レベルを調節することができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

- 1** AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディングモードにする



- 2** ▲ ボタンを押して、ノンフェーディングをONにする

▲ : ON

▼ : OFF



- 3** AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディング調節モードにする



- 4** ▲/▼ ボタンを押してレベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 6 から + 6 の範囲で調節できます。



レベル表示

- 5** BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールを " S.W Control:EXT " にしたときだけ、ノンフェーディングモードに切り換わります (「リアの出力方法を変える」123 ページ)。
- ・ノンフェーディングをOFFにしたときは、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数 について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い周波数の音域が各スピーカーから出力されます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ハイパスフィルターモードにする



- 2** ▲ ボタンを押して、ハイパスフィルターをONにする

▲ : ON
▼ : OFF

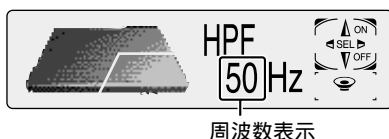


- 3** ◀/▶ ボタンを押してハイパスフィルターのカットオフ周波数を選ぶ

▶ : レベルを大きくするとき
◀ : レベルを小さくするとき

周波数は 50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。



- 4** BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SFE モードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFE モードとハイパスフィルターを組み合わせる設定するときは、SFE モードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

音の調節 (オーディオ調節モード)

各ソースの音量の違いをそろえる

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、FMを受信する
FMの音量を確かめてください。

- 2 SOURCE ボタンを押して、調節したいソースに切り換える

- 3 AUDIO ボタンを押して、SLA モードにする



- 4 ▲/▼ ボタンを押してレベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 4 から + 4 の範囲で調節できます。



レベル表示

- 5 BAND/ESC ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。
- ・ 本機の内蔵プレーヤーで、DVDを再生しているときは、DVDの音量差を調節することができます。
- ・ 本機の内蔵プレーヤーで、ビデオCDまたはCDを再生しているときは、ビデオCDとCDの音量差を調節することができます。
- ・ AM、テレビ、DVD、ビデオCD、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、ビデオCDとCD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (「交通情報を受信する」127ページ) は同じ設定になります。

内蔵プレーヤーの初期設定

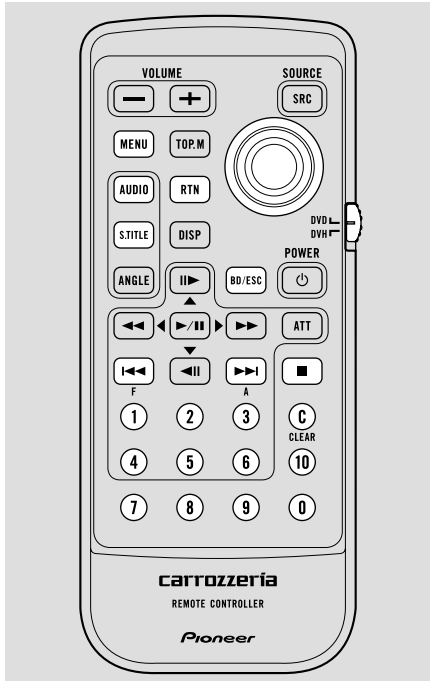
内蔵プレーヤーの初期設定

音声や字幕、視聴制限など内蔵プレーヤーの設定を変更することができます。

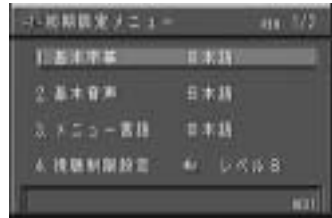
初期設定画面を表示する

リモコンの操作モードがDVHモードの場合

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、内蔵プレーヤーの初期設定を変更することはできません。内蔵DVDプレーヤーの初期設定を変更するときは、リモコンの操作モードをDVDモードに変更してから、操作してください。



- 1 停止 (■) ボタンを押す
- 2 停止中に MENU ボタンを押す
初期設定画面が表示されます。



- 3 スキップ (▶▶) ボタンを押す
初期設定画面の2画面目に切り換わります。



- ・スキップ (◀◀) ボタンを押すと、初期設定画面の1画面目に戻ります。
- ・初期設定画面表示中に MENU ボタンを押すと、初期設定画面が消え、停止状態になります。
- ・画面右下の「NEXT」「PREV」をジョイスティックで選んで、ジョイスティックを押すことでも、画面を切り換えることができます。

一つ前の画面に戻るには

初期設定メニューは、各設定項目ごとに画面が切り換わります。続けて他の項目を設定する場合、RETURN ボタンを押すことで一つ前の画面に戻ることができます。(画面右上の「RTN」をジョイスティックで選んで、ジョイスティックを押すことでも、前の画面に戻ることができます。)

字幕言語の設定

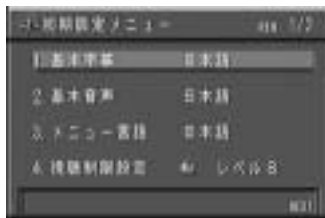
字幕の言語を設定しておくことができます。ここで選んだ言語がディスクに収録されていれば、その言語で字幕が表示されます。また、字幕・アシスト字幕の表示をオン/オフすることもできます。

字幕・アシスト字幕のオン/オフ設定

字幕、アシスト字幕は、それぞれオン/オフすることができます。

- 1 ジョイスティックを上下に操作して、「基本字幕」を選ぶ

「基本字幕」が青色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す

基本字幕設定画面に切り換わります。



- 3 ジョイスティックを上下に操作して、「字幕」「アシスト字幕」を選ぶ

選んでいる項目が青色で表示されます。

- 4 ジョイスティックを押す

押すごとに、選んだ項目のオン/オフが切り換わります。

アシスト字幕について

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕はDVDに収録されている場合にのみ表示することができます。

字幕言語の設定

字幕言語の設定

字幕として優先したい言語を設定することができます。

- 1 基本字幕設定画面（107 ページの手順 2）でジョイスティックを上下に操作して、「言語選択」を選ぶ


「言語選択」が青色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

基本字幕設定画面に切り換わります。



- 3 ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ

現在設定されている言語は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。



- 4 ジョイスティックを押す

字幕言語が設定されます。

- ・ 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・ SUBTITLE ボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます（37 ページ）。
- ・ SUBTITLE ボタンで字幕の言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。
- ・ RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されますので、「言語コード表」（129 ページ）より、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。CLEAR ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

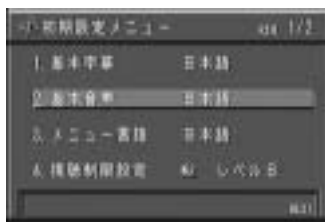


音声言語の設定

音声として優先したい言語を設定することができます。

1 ジョイスティックを上下に操作して、「基本音声」を選ぶ

「基本音声」が青色で表示されます。




2 ジョイスティックを押す

基本音声設定画面に切り換わります。



3 ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ

選んでいる項目が青色で表示されます。

現在設定されている言語は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。

・スキップ (▶▶) ボタンを押すと、言語選択画面の2画面目に切り換わります。1画面目に戻るときは、スキップ (◀◀) ボタンを押してください。

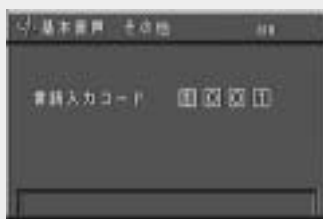
4 ジョイスティックを押す

音声言語が設定されます。

- ・選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・リモコンのAUDIOボタンで、再生中に音声言語を切り換えることもできます(36ページ)。
- ・リモコンのAUDIOボタンで音声言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。
- ・RETURNボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

「その他」を選んだとき

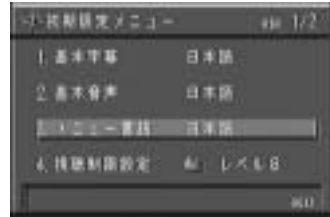
「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されますので、「言語コード表」(129ページ)より、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。CLEARボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。



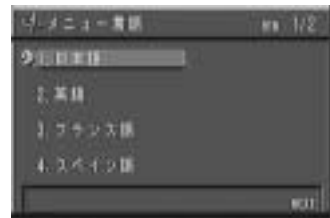
メニュー言語の設定

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。


- 1 ジョイスティックを上下に操作して、「メニュー言語」を選ぶ
「メニュー言語」が青色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
メニュー言語設定画面に切り換わります。



- 3 ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ
選んでいる項目が青色で表示されます。

現在設定されている言語は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。

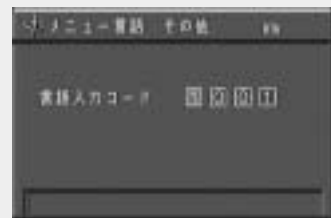
- ・スキップ (▶▶) ボタンを押すと、言語選択画面の2画面目に切り換わります。1画面目に戻るときは、スキップ (◀◀) ボタンを押してください。

- 4 ジョイスティックを押す
メニューの表示言語が設定されます。

- ・選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されますので、「言語コード表」(129ページ)より、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。CLEAR ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。



視聴制限の設定 (パレンタルロック)

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

レベル	視聴制限の内容
レベル 8	すべてのディスクを再生できます。(初期設定)
レベル 7～レベル 2	成人向けのディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けのディスクが再生できます。)
レベル 1	子供向けのディスクのみ再生できます。

暗証番号とレベルの設定

最初にご使用になるときは、暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しないと、視聴制限の設定を行うことはできません。

- 1 ジョイスティックを上下に操作して、「視聴制限設定」を選ぶ

「視聴制限設定」が青色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す

視聴制限設定画面に切り換わります。

- 3 リモコンの数字ボタンで、4桁の暗証番号を入力する



- 4 ジョイスティックを押す

暗証番号が決定され、レベルの設定ができるようになります。

(次ページへ続く)

視聴制限 (パレンタルロック) の設定

- 5** ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ



- 6** ジョイスティックを押す
視聴制限のレベルが設定されます。

- ・登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。
- ・視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- ・ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- ・RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

レベルの変更

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

- 1** ジョイスティックを上下に操作して、「視聴制限設定」を選ぶ
「視聴制限設定」が青色で表示されます。




- 2** ジョイスティックを押す
視聴制限設定画面に切り換わります。

- 3** リモコンの数字ボタンで、登録してある暗証番号を入力する



4 ジョイスティックを押す

暗証番号が決定され、レベルの変更ができるようになります。

- ・入力した暗証番号が間違っていると、 (禁止マーク) が表示されます。CLEAR ボタンを押してから、正しい番号を入力し直してください。
- ・暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号を忘れたときは」(128 ページ) をご覧ください。

5 ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ



6 ジョイスティックを押す

変更した視聴制限のレベルが設定されます。

- ・RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、正しい暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

画面の縦横比の設定 (テレビアスペクト)

モニターには、横と縦の比率が 16 : 9 のワイド画面と、4 : 3 のノーマル画面の 2 種類があります。お使いのモニターに合わせて正しく設定してください。

テレビアスペクト	設定内容
16 : 9	ワイドモニターをお使いのときに選択します。(初期設定)
レターボックス	ノーマルモニターをお使いのときに選択します。ディスクに収録されている映像が 16 : 9 のときは、レターボックス (上下に黒い帯のある画面) になります。
パンスキャン	ノーマルモニターをお使いのときに選択します。ディスクに収録されている映像が 16 : 9 のときは、パンスキャン (左右の切れた画面) になります。

- 1 初期設定画面の 2 画面目でジョイスティックを上下に操作して、「テレビアスペクト」を選ぶ

「テレビアスペクト」が青色で表示されます。(詳しい操作については 106 ページをご覧ください。)




- 2 ジョイスティックを押す

テレビアスペクト設定画面に切り換わります。




- 3 ジョイスティックを上下に操作して、希望のテレビアスペクトを選ぶ

現在設定されている項目は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。

- 4 ジョイスティックを押す

選んだテレビアスペクトが設定されます。

- ・ノーマルモニターをお使いのときは、「レターボックス」または「パンスキャン」のどちらかに設定してください。「16 : 9」に設定すると、映像が不自然になることがあります。
- ・パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生となります。ディスクのパッケージなどで  マーク (15 ページ) を確認してください。
- ・ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- ・RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

マルチアングルマーク表示 ON/OFF の設定

マルチアングル収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、画面右下にマルチアングルマークを表示することができます。

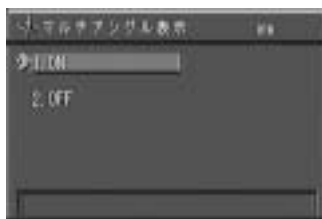
- 1 初期設定画面の 2 画面目でジョイスティックを上下に操作して、「マルチアングル」を選ぶ


「マルチアングル」が青色で表示されます。(詳しい操作については 106 ページをご覧ください。)



- 2 ジョイスティックを押す

マルチアングル表示設定画面に切り換わります。



- 3 ジョイスティックを上下に操作して、マルチアングルマーク表示の ON/OFF を選ぶ
現在設定されている項目は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。

- 4 ジョイスティックを押す

マルチアングルマーク表示の ON/OFF が設定されます。

・ RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

デジタル出力の設定

組み合わせる機器に合わせて、デジタル出力を正しく設定してください。デジタル接続していない場合、変更する必要はありません。

誤った設定をするとノイズが発生し、スピーカーを破損する恐れがありますので、組み合わせる機器の説明書も合わせてお読みください。


デジタル出力	設定内容
DOLBY D/LPCM	ドルビーデジタルに対応したアンプまたはデコーダーをお使いのときに選択します。ドルビーデジタル信号をそのまま出力します。 (初期設定)
LPCM	ドルビーデジタルに対応していないアンプまたはデコーダーをお使いのときに選択します。ドルビーデジタル信号をリニアPCMに変換して出力します。

- 1 初期設定画面の2画面目でジョイスティックを上下に操作して、「デジタル出力」を選ぶ
「デジタル出力」が青色で表示されます。(詳しい操作については106ページをご覧ください。)



- 2 ジョイスティックを押す
デジタル出力設定画面に切り換わります。



- 3 ジョイスティックを上下に操作して、希望のデジタル出力を選ぶ
現在設定されている項目は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。

- 4 ジョイスティックを押す
選んだデジタル出力が設定されます。

- ・ DTS 音声は、リニア PCM 出力できません。「LPCM」に設定すると、DTS 音声は出力されません。
- ・ RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

音声出力の設定 (デジタル/アナログ共通)

リニアPCM 音声の出力方法をデジタル/アナログ共通で設定することができます。組み合わせる機器に合わせて正しく設定してください。

誤った設定をすると音声が出られなくなりますので、組み合わせる機器の説明書も合わせてお読みください。

出力設定	設定内容
48KHz	デジタル接続時は、通常はこの設定にします。 音声のサンプリング周波数に関わらず 48 kHz で出力します。 96 kHz の場合、48 kHz に変換されます。(初期設定)
96KHz	アナログ接続時は、通常はこの設定にします。 音声のサンプリング周波数のまま出力します。96 kHz の場合、そのままの高音質を楽しむことができます。

1 初期設定画面の2画面目でジョイスティックを上下に操作して、「出力設定」を選ぶ

「出力設定」が青色で表示されます。(詳しい操作については106ページをご覧ください。)




2 ジョイスティックを押す

出力設定画面に切り換わります。



3 ジョイスティックを上下に操作して、希望の出力設定を選ぶ

現在設定されている項目は  で表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。

4 ジョイスティックを押す

選んだ出力設定が設定されます。

- ・ 96 kHz で収録されているディスクでは、「96KHz」に設定すると、デジタル出力から音声が出なくなります。(ただし、ディスクにCSS (Content Scrambling System) のコピーガード信号が入っていない場合、96 kHz で音声デジタル出力されます。)
- ・ 本機に、5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を組み合わせる場合、「48KHz」に設定してください。「96KHz」に設定すると、96 kHz で収録されているディスクの音声が出されません。
- ・ RETURN ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

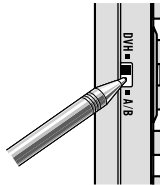
リモコンコードの設定

本機とパイオニア製 DVD プレーヤーを組み合わせたときに、付属のリモコンでパイオニア製 DVD プレーヤーをコントロールするために、リモコンコードの設定をします。リモコンコードにはコード DVH、コード A、およびコード B があります。6 連奏マルチ DVD プレーヤー（「XDV-P9II」など）と組み合わせたときは、コード A に設定してください。また、HDD ナビゲーションサーバー（「AVIC-H09」など）と組み合わせたときは、コード B に設定してください。

リモコンの操作モード切り換えスイッチが DVD モードにセットされているときだけ、リモコンコードの設定を変更することができます。

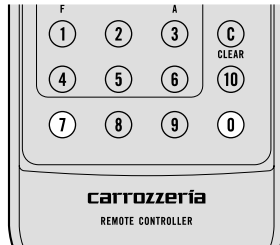
コード設定	設定内容
コード DVH	付属のリモコンで、本機だけを操作するときはこの設定にします。
コード A	付属のリモコンで、パイオニア製 6 連奏マルチ DVD プレーヤー（「XDV-P9II」など）を操作するときは、この設定にします。
コード B	付属のリモコンで、パイオニア製 HDD ナビゲーションサーバー（「AVIC-H09」など）を操作するときは、この設定にします。

- 1** リモコンの左側面にある、リモコンコード切り換えスイッチを、ペン先などで切り換える



- 2** コード A/B に設定したときは、リモコンの数字ボタン 7 と 0 を同時に押す

数字ボタン 7 と 0 を同時に押すごとに、コード A とコード B が順に切り換わります。（初期設定はコード A です）

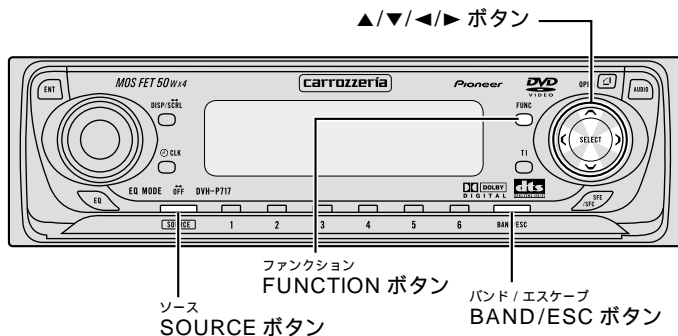


- ・パイオニア製の DVD プレーヤーの初期設定メニューと、本機に付属のリモコンのコードの設定は同じにしてください。設定が異なっていると操作できません。

初期設定

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマラーの設定などをするときには、初期設定モードを切り換えて操作します。



初期設定画面を表示する

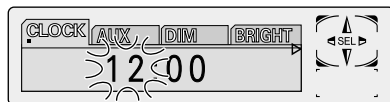
リモコンの操作モードがDVHモードの場合

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、初期設定をすることができます。リモコンの操作モードがDVDモードの場合、リモコンでの操作はできません。

1 SOURCE ボタンを1秒以上押して本機の電源をOFFにする

2 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押す

初期設定モードが表示されます。



3 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 時計調節モード (121 ページ) AUX (外部機器) モード (121 ページ)
- ディマラーモード (122 ページ) ブライトモード (123 ページ)
- リア出力設定モード (123 ページ) デジタルアッテネーターモード 1
- TELミュート/アッテネートモード (125 ページ) オートプレイモード (125 ページ)
- 時計調節モードに戻る

1 : デジタルアッテネーターモード について

- ・デジタルアッテネーターモードは、本機に、5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を接続しているときだけ使用できます。

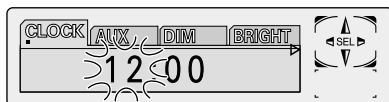
- ・初期設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

初期設定

時計を合わせる

時計を合わせることができます。

- 1 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ



時計調節モードが表示されます。

- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀ : 左に移動させるとき

▶ : 右に移動させるとき

時刻を合わせる

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

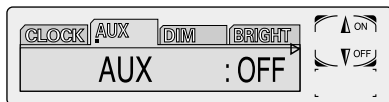
外部機器の音声を聞く

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

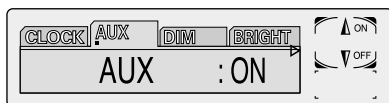


AUX (外部機器) モードが表示されます。

- 2 ▲ ボタンを押して、AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ : ON

▼ : OFF



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

- 4 SOURCE ボタンを押して、ソースをAUXに切り換える (21 ページ)

外部機器の音声が出力されます。



初期設定

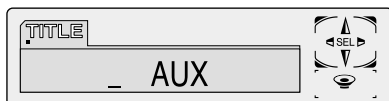
外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (21 ページ)



- 2** FUNCTION ボタンを 2 秒以上押して、外部機器の名称入力モードにする



- 3** 外部機器の名称を入力し、記憶させる
CD タイトル入力 (82 ページ) の手順 3 ~ 5 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) "DAT" を入力した場合



外部機器の名称は 8 文字まで入力することができます。

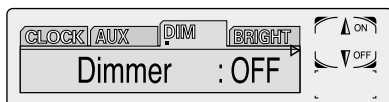
"AUX" の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトを ON にするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

- 1** 電源が OFF のときに、FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

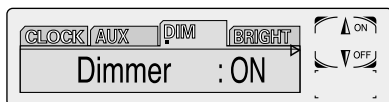
ディマーモードが表示されます。



- 2** ▲ ボタンを押して、ディマーの設定を ON にする

▲ : ON

▼ : OFF



- 3** BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

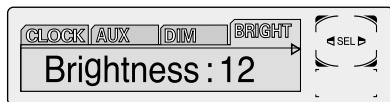
・車のライトを ON にしてディマーが働いているときでも、ブライต์モードで、ディスプレイの明るさを "0" に調節しているときは、ディスプレイの明るさを変えることはできません。

ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイの明るさを調節することができます。

- 1 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

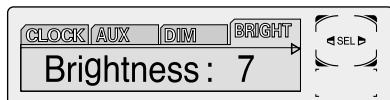
ブライトモードが表示されます。



- 2 ◀/▶ ボタンを押して、明るさを調節する

▶ : 明るくしたいとき

◀ : 暗くしたいとき



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

リアの出力方法を変える

リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“Rear SP : FULL” に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“Rear SP : S.W” に切り換えます。リア出力の設定を“Rear SP : S.W” に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続することができます。

- 1 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

リア出力設定モードが表示されます。



- 2 ▲/▼ ボタンを押して、リアの出力方法を選ぶ

▲ : Rear SP : FULL (フルレンジのとき)

▼ : Rear SP : S.W (サブウーファーのとき)



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

・リア出力の設定は、リアスピーカー端子とRCA出力を同時に切り換えます。どちらか一方だけを切り換えることはできません。

初期設定

サブウーファースの調節先を選ぶ

RCA サブウーファー出力にサブウーファーを接続する場合、本機のオーディオ調節モードでサブウーファーを調節する“ S.W Control :INT ”と、外部アンプでサブウーファーを調節する“ S.W Control:EXT ”が選べます。

(この機能は初期設定で“ Rear SP : FULL ”になっています。)

- 1** 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

リア出力設定モードが表示されます。



- 2** ▲ ボタンを押して、“ Rear SP : FULL ”にする



- 3** ◀/▶ ボタンを押して、サブウーファーコントロールを設定する

◀ : S.W Control : INT (本機で調節するとき)

▶ : S.W Control : EXT (外部アンプで調節するとき)



- 4** BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールの設定を“ S.W Control:EXT ”にしたときは、オーディオ調節モードでノンフェーディングの設定を行ってください。
- ・サブウーファーコントロールの設定を“ S.W Control:INT ”にしたときは、本機のオーディオ調節モードでサブウーファーを調節してください。
- ・サブウーファーコントロールの設定を切り換えると、オーディオ調節モードで行った設定はリセットされます。

ミュート/アッテネート切り換え

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-DR2500」など) と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”で、アッテネート機能が働いているときの音量は、元の音量の約1/10です。ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

- 1 電源がOFFのときに、FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

ミュート/アッテネートモードが表示されます。



- 2 ◀/▶ ボタンを押して、信号入力時の設定を選ぶ

- ▶ : MUTE (ミュート)
- ◀ : ATT (アッテネート)



- 3 BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

・本機に、5.1ch対応・DSPユニット(「DEQ-P7」)を接続しているときは、ミュート/アッテネートの切り替えは、MUTE ATT 1 ATT 2の3段階になります。

自動/手動再生の切り換え

内蔵プレーヤーにディスクを挿入したとき、自動的に再生を開始するか、手動でソースを切り換えるかを選ぶことができます。

(この機能は初期設定で“AUTO PLAY :ON”になっています。)

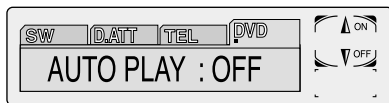
- 1 電源がOFFのときに、FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

オートプレイモードが表示されます。



- 2 ▲/▼ ボタンを押して、ディスク再生時の設定を選ぶ

- ▲ : ON
- ▼ : OFF

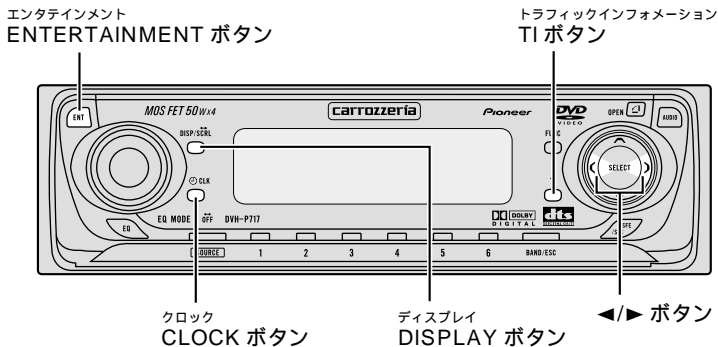


- 3 BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除する

・“AUTO PLAY :ON”のときに、内蔵プレーヤーにディスクを挿入すると、ソースがDVDに切り換わり、ディスクの再生が始まります。

その他の機能と付録

その他の機能



瞬時に音量を小さくする

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

- 1 リモコンの ATT ボタンを押して、アッテネーターを ON/OFF するボタンを押すごとに ON/OFF します。

アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。



アッテネーターが ON のときに点滅します。

時計を表示させる

本機の電源の ON/OFF にかかわらず、時計を表示させることができます。

- 1 CLOCK ボタンを押して、時計を表示するボタンを押すごとに ON/OFF します。



時計表示

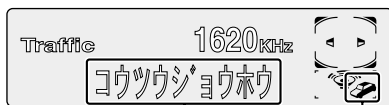
- ・本機の電源が ON の場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されます。その場合、約 5 秒後に、時計表示に戻ります。
- ・時計を合わせるには(「時計を合わせる」121 ページ)。

交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 TIボタンを押して、交通情報を受信する

AM1,620 kHzの交通情報を受信します。



交通情報受信中に表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 1,629 kHzにすると

◀ : 1,620 kHzにすると



受信周波数

3 TIボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- ・この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- ・交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- ・交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わりします。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、もとの状態に戻ります。
- ・交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

エンタテインメントを表示させる

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、ディスプレイにいろいろな動画などを表示する機能です。

1 ENTERTAINMENT ボタンを押して、エンタテインメントを表示する

ボタンを押すごとに次のように切り換わりします。

ソースアイコン (再生時間表示)

バックグラウンドビジュアルモード1 バックグラウンドビジュアルモード2

バックグラウンドビジュアルモード3 バックグラウンドビジュアルモード4

バス・トレブルメーター1 バス・トレブルメーター2

ムービースクリーンモード1 (ドリームタイム)

ムービースクリーンモード2 (トワイライト) エンタテインメントクロック

ソースアイコン (再生時間表示) に戻る

その他の機能

デジタル出力の情報を表示させる

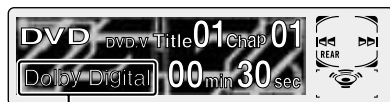
本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を接続している場合、デジタル出力の情報を本体の画面に表示することができます。

1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示 デジタル出力情報表示 再生経過時間表示に戻る

ドルビーデジタル再生時は、「Dolby Digital」が表示され、DTS 再生時は、「dts」が表示されます。



デジタル出力表示

- ・モニターに表示される音声情報と、本機に表示されるデジタル出力表示は、異なることがあります。
- ・ビデオ CD 再生時は、デジタル出力情報表示には切り換わりません。

DVD プレーヤーのその他の機能

コンディションメモリーについて

ディスク再生中に設定した音声言語・字幕言語・アングル番号、音声の出力方法 (ステレオ、モノラル)、テレビアスペクト設定の 5 項目をディスクごとに最大 30 枚まで記憶する機能です。特別な操作の必要はなく、ディスク再生中の最後の設定内容を記憶します。記憶されたディスクを再生すると、前回の設定内容で再生されます。

- ・ディスクによっては、音声言語や字幕言語の設定が自動的にディスクで指定された内容になり、コンディションメモリーが無効になってしまう場合があります。
- ・30 枚を越えたときは、古い記憶から順に新しい記憶に入れ換わります。
- ・コンディションメモリーを全て消去するには、エンジンスイッチが ON または ACC の状態で本機の電源を OFF にし、本体の 4 ボタンと 6 ボタンを同時に 2 秒以上押します。

暗証番号を忘れたときは

「レベルの変更」(112 ページ) の手順 3 で、CLEAR ボタンを 10 回押します。登録した暗証番号が解除され、新しい暗証番号を登録できるようになります。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハラー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入力コード
ゲジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入力コード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストウ語 (st)	1920
スダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジク語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タートル語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横や縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

視聴制限 (パレンタルロック)

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりすることができます。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記録されている場合、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。この場合、タイトルサーチなどの操作ができます。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。本の“章”に相当します。ディスクにチャプターが記録されていると、希望の場面をすばやく見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

光デジタル出力

音声信号をデジタル信号で伝送することにより、音質の劣化を最小限に抑えることができます。また、デジタル信号を光で伝送するようにしたものが光デジタル出力です。(アンプなど受け取り側には、光デジタル入力が必要です。)

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくるようになれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDでは、音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。(本体底面に表記されています。)

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。



DTS音声付きディスクを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーなどの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略で、「エムベグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

リニアPCM(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit ~ 96 kHz/24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

故障かな？と思ったら

**故障かな？と
思ったら**
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



**チェックしても
直らないときは**
「保証書とアフターサービ
ス」(137ページ)をお読
みになり、修理を依頼し
てください。


共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
リモコンで操作できない。 操作にあった正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。 (19ページ)
	リモコンコードが異なっている。	リモコンコード切り換えスイッチを正しく切り換えてください。 (118ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (18ページ)
ディスクを再生できない。	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。 (11ページ)
音が出ない。	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
	音量を下げている。	音量を上げてください。 (22ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (126ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (93ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)

共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(93 ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(93 ページ)

内蔵プレーヤー : DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 (「取付説明書」参照)
	パーキングブレーキをかけていない。	(「取付説明書」参照)
 (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの停止 (■) ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。
	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限を解除できない。	暗証番号を忘れてしまった。	CLEAR ボタンを 10 回押して、暗証番号を解除してください。
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。

故障かな?と思ったら

内蔵プレーヤー : DVD (つづき)

症状	原因	処置
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。 ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。 ディスクのメニューで切り換えてください。
内蔵プレーヤーの初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	内蔵プレーヤーの初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	内蔵プレーヤーの初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えできません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。
DVDの再生ができない。DVDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押しと、DVDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

内蔵プレーヤー : ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。 PBCをOFFにしている。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。 PBCをONにしてください。 (48ページ)
リピート再生、トラック/タイムサーチができない。	PBCがONになっている。	PBCをOFFにしてください。 (48ページ)
ビデオCDの再生ができない。ビデオCDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押しと、ビデオCDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

内蔵プレーヤー：CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(11ページ)
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。(11ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押すと、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。(66ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。(66ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(66ページ)

こんなメッセージが表示されたら

本体のディスプレイに表示されるエラーメッセージ

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-17」 「ERROR-30」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(11ページ) ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。(24ページ)
	本機では再生できないディスク(CD-ROMなど)を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。(12ページ)
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度ディスク再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	ディスクを交換してください。

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの説明書をご覧ください。

モニター表示されるエラーメッセージ

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-02」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(11ページ) ディスクを交換してください。
「温度保護回路作動中」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「リージョンコードが違います」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「再生できないディスクです」	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。(24ページ)
	本機では再生できないディスク(CD-ROMなど)を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。(12ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10 A

外形寸法：

(フェイス閉)

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) × 44 (H) × 23 (D) mm

(フェイス開)

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) × 64 (H) × 45 (D) mm

質量：

1.7 kg (コード含まず)

アンプ/オーディオ部

最大出力：

50W × 4

50W × 2ch + 70W × 1ch/2

(for SUB-WOOFER)

定格出力：

22W × 4

(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

負荷インピーダンス：

4

(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

プリアウト：

最大出力レベル：

2.2 V

出力インピーダンス：

1 k

イコライザー：

3 バンドパラメトリックイコライザー：

(LOW)：

周波数: 40/80/100/160 Hz

Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

(MID)：

周波数: 200/500/1K/2K Hz

Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

(HIGH)：

周波数: 3.15K/8K/10K/12.5K Hz

Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

ラウドネスコンター：

(LOW)：

3.5 dB (100 Hz)

3 dB (10 kHz)

(MID)：

10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

(HIGH)：

11 dB (100 Hz)

11 dB (10 kHz)

(ポリューム: - 30 dB)

トーンコントロール：

(バス)：

周波数: 40/63/100/160 Hz

ゲイン: ± 12 dB

(トレブル)：

周波数: 2.5K/4K/6.3K/10K Hz

ゲイン: ± 12 dB

ハイパスフィルター：

周波数: 50 Hz/80 Hz/125 Hz

スロープ: - 12 dB/oct.

サブウーファアアウトプット：

周波数: 50/80/125 Hz

スロープ: - 18 dB/oct.

ゲイン: ± 12 dB

位相: NORMAL/REVERSE

DVD プレーヤー部

形式：
DVD ビデオ、ビデオCD およびコンパクト
ディスクオーディオシステム

リージョン番号：
2

使用ディスク：
DVD ビデオ、ビデオCD およびコンパクト
ディスク

信号フォーマット：
サンプリング周波数：
44.1/48/96 kHz
量子化ビット数：
16/20/24 ビット直線

周波数特性：
5 ~ 44,000 Hz

S/N 比：
97 dB (IEC-A ネットワーク)
96 dB (IEC-A ネットワーク) : CD

ダイナミックレンジ：
96 dB (1 kHz)
95 dB (1 kHz) : CD

高調波歪率：
0.008 % (1 kHz)

出力レベル：
映像
1 V_{p-p}/75
音声
1 V (1 kHz, 0 dB)

チャンネル数：
2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域：
76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度：
9 dBf (0.8 μV/75、
モノラル、S/N : 30 dB)

S/N 50 dB 感度：
14 dBf (1.4 μV/75、モノラル)

S/N :
70 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：
0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)

周波数特性：
30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)

ステレオセパレーション：
40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域：
522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)

実用感度：
18 μV (S/N : 20 dB)

実用選択度：
50 dB (± 9 kHz)

付属品

リモコン	: 1
リチウム電池 (CR2025)	: 1
コードユニット	: 1 式
取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	: 1

・上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2002

<KSNZF/02C00001> <CRA3300-A>